はじめに

伊藤成朗

聖心女子大学 アジア経済研究所

2022 年秋学期

国際交流学科

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE)

2022 秋学期

本講義の目的: 以下を実施すること。Purposes of this course: To

• 低所得国で貧困を生むメカニズムを知ること。Know the mechanism that generates poverty in low income countries.

本講義の目的: 以下を実施すること。Purposes of this course: To

- 低所得国で貧困を生むメカニズムを知ること。Know the mechanism that generates poverty in low income countries.
- 身の回りの社会経済課題についての論理的・経済学的思考方法に習熟すること。Be familiar with logical and economic thinking on socioeconomic issues around us.

本講義の目的: 以下を実施すること。Purposes of this course: To

- 低所得国で貧困を生むメカニズムを知ること。Know the mechanism that generates poverty in low income countries.
- 身の回りの社会経済課題についての論理的・経済学的思考方法に習熟すること。Be familiar with logical and economic thinking on socioeconomic issues around us.
- 因果関係の推論方法を知ること。Know how to infer causal relationships.

- 本講義の目的: 以下を実施すること。Purposes of this course: To
 - 低所得国で貧困を生むメカニズムを知ること。Know the mechanism that generates poverty in low income countries.
 - 身の回りの社会経済課題についての論理的・経済学的思考方法に習熟すること。Be familiar with logical and economic thinking on socioeconomic issues around us.
 - 因果関係の推論方法を知ること。Know how to infer causal relationships.
 - データ視覚化の方法を知ること。Know how to visualise data.

- 本講義の目的: 以下を実施すること。Purposes of this course: To
 - 低所得国で貧困を生むメカニズムを知ること。Know the mechanism that generates poverty in low income countries.
 - 身の回りの社会経済課題についての論理的・経済学的思考方法に習熟すること。Be familiar with logical and economic thinking on socioeconomic issues around us.
 - 因果関係の推論方法を知ること。Know how to infer causal relationships.
 - データ視覚化の方法を知ること。Know how to visualise data.
 - 開発ミクロ経済学の入門的知識を得ること。Get an accessible introduction to development microeconomics.

- 本講義の目的: 以下を実施すること。Purposes of this course: To
 - 低所得国で貧困を生むメカニズムを知ること。Know the mechanism that generates poverty in low income countries.
 - 身の回りの社会経済課題についての論理的・経済学的思考方法に習熟すること。Be familiar with logical and economic thinking on socioeconomic issues around us.
 - 因果関係の推論方法を知ること。Know how to infer causal relationships.
 - データ視覚化の方法を知ること。Know how to visualise data.
 - 開発ミクロ経済学の入門的知識を得ること。Get an accessible introduction to development microeconomics.
 - 研究の最先端を垣間見ること。Have a glimpse of research frontier.

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

• 家計: 消費、家計内資源配分、労働供給、人的資本、早期児童発達、リスク、認知バイアスと変則行動など。

3 / 67

| Ito (SHU, IDE) | 2022 秋学期

- 家計: 消費、家計内資源配分、労働供給、人的資本、早期児童発達、リスク、認知バイアスと変則行動など。
- Households: Consumption, intrahousehold resource allocation, labour supply, human capital, early childhood development, risks, cognitive biases and behavioral anomalies, etc.

- 家計: 消費、家計内資源配分、労働供給、人的資本、早期児童発達、リスク、認知バイアスと変則行動など。
- Households: Consumption, intrahousehold resource allocation, labour supply, human capital, early childhood development, risks, cognitive biases and behavioral anomalies, etc.
- 企業: 物的資本、信用制約、起業家能力と経営資本など。

3 / 67

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

- 家計: 消費、家計内資源配分、労働供給、人的資本、早期児童発達、リスク、認知バイアスと変則行動など。
- Households: Consumption, intrahousehold resource allocation, labour supply, human capital, early childhood development, risks, cognitive biases and behavioral anomalies, etc.
- 企業: 物的資本、信用制約、起業家能力と経営資本など。
- Firms: Physical capital, credit constraints, entrepreneurship and management capital.

- 家計: 消費、家計内資源配分、労働供給、人的資本、早期児童発達、リスク、認知バイアスと変則行動など。
- Households: Consumption, intrahousehold resource allocation, labour supply, human capital, early childhood development, risks, cognitive biases and behavioral anomalies, etc.
- 企業: 物的資本、信用制約、起業家能力と経営資本など。
- Firms: Physical capital, credit constraints, entrepreneurship and management capital.
- 可能な限り多く扱う。

- 家計: 消費、家計内資源配分、労働供給、人的資本、早期児童発達、リスク、認知バイアスと変則行動など。
- Households: Consumption, intrahousehold resource allocation, labour supply, human capital, early childhood development, risks, cognitive biases and behavioral anomalies, etc.
- 企業: 物的資本、信用制約、起業家能力と経営資本など。
- Firms: Physical capital, credit constraints, entrepreneurship and management capital.
- 可能な限り多く扱う。
- Hope to cover as many as possible.

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期 3/67

ハウスキーピングhousekeeping

成績: 下記のウェイトを使います。

クラス内短試験 10%. → オンラインでは実施不可だったので、質問や発言によるクラスへの貢献度で代替

宿題、レポート 3-4 times, 50% or more.

クラス内参照可能期末試験 In-class, open book (web), final exam Up to 40%.

希望者のみレポート Optional reports 20%.

希望者のみレポート以外で 100 になるようにする。希望者のみレポートは 100 に 加算。

- レポートはグループ作業も歓迎します。その際には共同作業した学生の名前を明記し、文章は各自が書くようにして下さい。文章を参照記載なしに複製した場合には、点数は共有にします (=1 名分の点数を複製した人数で割ります)。
- 期限を過ぎた提出は成績に反映されません。

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

ハウスキーピングhousekeeping

その他: Other stuffs:

- オフィスはありませんので、質問等は講義の後にオンラインで直接、もしくは、 その他の時間にメールでお願いします。 seiroi@gmail.com
- クラス内の質問を推奨します。
- 講義言語: 日本語
- リアクション・ペーパーを講義終了日の 20 時までに Google Classroom にアップロード。時間の猶予がほしい場合には都度ご相談下さい。Hard copy?
 - 感想
 - 分かりづらかった点
 - こういう理解で良いかという確認
 - 参考文献照会
 - その他疑問など

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE)

今回のトピック

開発経済学の動機

経済学の動機

開発経済学の今まで

開発の概観

貧困の罠

ランダム化比較試験 RCT

開発経済学とは?

クラスで習う普通の経済学と違うものですか?

クラスで習う普通の経済学と違うものですか? 同じです。

クラスで習う普通の経済学と違うものですか? 同じです。

では、なぜ開発経済学が必要なのですか?

クラスで習う普通の経済学と違うものですか? 同じです。

では、なぜ開発経済学が必要なのですか?必要かどうかには議論があります。特別 な経済学は必要ないかもしれませんが、発展地域の課題の特性を分析す る経済学は必要です。

クラスで習う普通の経済学と違うものですか? 同じです。

では、なぜ開発経済学が必要なのですか?必要かどうかには議論があります。特別 な経済学は必要ないかもしれませんが、発展地域の課題の特性を分析す る経済学は必要です。

開発経済学と普通の経済学に違いがあるとすれば何ですか?

7 / 67

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

クラスで習う普通の経済学と違うものですか? 同じです。

では、なぜ開発経済学が必要なのですか?必要かどうかには議論があります。特別 な経済学は必要ないかもしれませんが、発展地域の課題の特性を分析す る経済学は必要です。

開発経済学と普通の経済学に違いがあるとすれば何ですか?発展地域を扱うので、対象にする個人、家計、経済取引、保健や環境の課題、社会習慣やルールなどが違います。普通の経済学を使ってこれらを分析しますが、先進地域とは異なる視点や仮定の下で分析します。経済学は人々の意思決定を説明しようとしていることを思い出して下さい。そうした道具を異なる社会経済条件下の人々、企業、組織、政府などに適用します。これが開発経済学の中身です。

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

SHU, IDE

2 秋学期 8 / 67

Is it different from regular, economics that we learn in a class? No.

Is it different from regular, economics that we learn in a class? No.

Is it different from regular, economics that we learn in a class? No.

Then, why do we need development economics? There is a debate if we need one. We may not need a special economics, but we definitely need economics to understand the nature of problems in developing areas.

Is it different from regular, economics that we learn in a class? No.

Then, why do we need development economics? There is a debate if we need one. We may not need a special economics, but we definitely need economics to understand the nature of problems in developing areas.

Is it different from regular, economics that we learn in a class? No.

Then, why do we need development economics? There is a debate if we need one. We may not need a special economics, but we definitely need economics to understand the nature of problems in developing areas.

What is special about development economics? Because it deals with developing areas, we study a very different set of individuals, households, economic transations, health issues, environmental issues, social customs, rules, etc. While we still use economics as a tool to analyse issues, we need a different set of perspectives and assumptions than when we analyse issues of developed areas. Remember, economics tries to explain about people's decision making. We apply it to the people, firms, groups, organizations, governments of different countries under different socioeconomic conditions. That is the content of development economics.

今後学ぶ内容がぼんやりと分かったと思います。Now, you have a very vague picture of what you will learn.

9/67

今後学ぶ内容がぼんやりと分かったと思います。Now, you have a very vague picture of what you will learn.

では、開発経済学をどのように役立てるか問うて下さい。Then, please ask yourself what you make out of dev econ.

今後学ぶ内容がぼんやりと分かったと思います。Now, you have a very vague picture of what you will learn.

では、開発経済学をどのように役立てるか問うて下さい。Then, please ask yourself what you make out of dev econ.

違う言い方をすれば、あなたが開発経済学を学ぶ根源的な動機です。Or, your intrinsic motivation of studying dev econ.

今後学ぶ内容がぼんやりと分かったと思います。Now, you have a very vague picture of what you will learn.

では、開発経済学をどのように役立てるか問うて下さい。Then, please ask yourself what you make out of dev econ.

違う言い方をすれば、あなたが開発経済学を学ぶ根源的な動機です。Or, your intrinsic motivation of studying dev econ.

以下では動機を1つ挙げることができます。I can give you one good motivation.

今後学ぶ内容がぼんやりと分かったと思います。Now, you have a very vague picture of what you will learn.

では、開発経済学をどのように役立てるか問うて下さい。Then, please ask yourself what you make out of dev econ.

違う言い方をすれば、あなたが開発経済学を学ぶ根源的な動機です。Or, your intrinsic motivation of studying dev econ.

以下では動機を1つ挙げることができます。I can give you one good motivation.

われわれの共感能力が不完全であるためです。Our imperfect empathy.

Peter Singer、倫理学者、哲学者

https://petersinger.info/projects

溺れる子ども Child in the pond 問題:



Photo by Alletta Vaandering

▶ ChildInThePond

溺れる子ども Child in the pond 問題:

► ChildInThePond



Photo by Alletta Vaandering

ほぼ全員が「はい」

溺れる子ども Child in the pond 問題:

Photo by Alletta Vaandering

➤ ChildInThePond

ほぼ全員が「はい」

シンガーの問い

溺れる子ども Child in the pond 問題:



Photo by Alletta Vaandering

▶ ChildInThePond

ほぼ全員が「はい」

シンガーの問い

シンガー: 先進国に住むわれわれは所得の一定割合を貧しい国の住民に与える道徳的義務がある

溺れる子ども Child in the pond 問題:



Photo by Alletta Vaandering

▶ ChildInThePond

ほぼ全員が「はい」

シンガーの問い

シンガー: 先進国に住むわれわれは所得の一定割合を貧しい国の住民に与える道徳的義務がある

■ われわれは共感する人間でありたい、貧しい国の貧困について考えたい、と思っているはずですが、かなり不完全にしかできません。(だから、強制的に考えるように仕向けなければならない、のかもしれない。)なぜ貧しいか、何で困っているか、を理解することが、共感を行動に変える第一歩になると思います。

SHO, IDE

lto (SHU, IDE) 2022 秋学期 10 / 67

DRC での (戦争) 暴力被害者女性の治療と啓発活動 NHK こころの時代「沈黙は共犯 闘う医師」



Photo by MONUSCO CC BY-SA 2.0 © 00



DRC での (戦争) 暴力被害者女性の治療と啓発活動 NHK こころの時代「沈黙は共犯 闘う医師」



Photo by MONUSCO CC BY-SA 2.0 © 00



戦争・災害が起こると暴力が始まる

DRC での (戦争) 暴力被害者女性の治療と啓発活動 NHK こころの時代「沈黙は共犯 闘う医師」



Photo by MONUSCO CC BY-SA 2.0 © 🛈 🛈



戦争・災害が起こると暴力が始まる ← 平和時から暴力の根がある

DRC での (戦争) 暴力被害者女性の治療と啓発活動 NHK こころの時代「沈黙は共犯 闘う医師」



Photo by MONUSCO CC BY-SA 2.0 @ 😈 🔘



戦争・災害が起こると暴力が始まる ← 平和時から暴力の根がある

反無関心: (性)暴力、戦争での殺戮は被害者を物として捉えることで可能になる

DRC での (戦争) 暴力被害者女性の治療と啓発活動 NHK こころの時代「沈黙は共犯 闘う医師」



Photo by MONUSCO CC BY-SA 2.0 @ 😈 🗑



戦争・災害が起こると暴力が始まる ← 平和時から暴力の根がある

反無関心: (性)暴力、戦争での殺戮は被害者を物として捉えることで可能になる

非紛争地でも平時から他者への尊敬と差別を許さない行動:暴力を減らせる

DRC での (戦争) 暴力被害者女性の治療と啓発活動 NHK こころの時代「沈黙は共犯 闘う医師」



Photo by MONUSCO CC BY-SA 2.0 © 🗓 💿

戦争・災害が起こると暴力が始まる ← 平和時から暴力の根がある

反無関心: (性)暴力、戦争での殺戮は被害者を物として捉えることで可能になる

非紛争地でも平時から他者への尊敬と差別を許さない行動: 暴力を減らせる

☞ 暴力はどこの社会でも発生するので、行動は自分の周囲でいい

Ito (SHU, IDE)

「正義論」A theory of justice で許容できる 不平等を問うた



Photo by Alec Rawls



SHU, IDE 12 / 67

「正義論」A theory of justice で許容できる 不平等を問うた



Photo by Alec Rawls



Original position による思考実験: People deliberately select what kind of society they would choose to live in if they did not know which social position they would personally occupy.

「正義論」A theory of justice で許容できる 不平等を問うた



Photo by Alec Rawls

Public Domain

Original position による思考実験: People deliberately select what kind of society they would choose to live in if they did not know which social position they would personally occupy.

Veil of ignorance: OP 思考実験では、自分が社会のどの地位を占めるか分からないと想定。

「正義論」A theory of justice で許容できる 不平等を問うた



Photo by Alec Rawls

Public Domain

Original position による思考実験: People deliberately select what kind of society they would choose to live in if they did not know which social position they would personally occupy.

Veil of ignorance: OP 思考実験では、自分が社会のどの地位を占めるか分からないと想定。

☞ 性別、宗教、人種、年齢、知力、財力などについて分からない

「正義論」A theory of justice で許容できる 不平等を問うた



Photo by Alec Rawls

Public DOMAIN

Original position による思考実験: People deliberately select what kind of society they would choose to live in if they did not know which social position they would personally occupy.

Veil of ignorance: OP 思考実験では、自分が社会のどの地位を占めるか分からないと想定。

🖙 性別、宗教、人種、年齢、知力、財力などについて分からない

特定のグループを差別する分配は誰も提案しないし、最悪の状態にある人たちを救 おうとする

「正義論」A theory of justice で許容できる 不平等を問うた



Photo by Alec Rawls

Original position による思考実験: People deliberately select what kind of society they would choose to live in if they did not know which social position they would personally occupy.

Veil of ignorance: OP 思考実験では、自分が社会のどの地位を占めるか分からないと想定。

☞ 性別、宗教、人種、年齢、知力、財力などについて分からない

特定のグループを差別する分配は誰も提案しないし、最悪の状態にある人たちを救 おうとする

■ 自分が恵まれない条件化にあるかもと思えば助けたくなる

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE)

シンガー: 地球の裏側まで共感せよ

ムクウェゲ: 共感は自らの周囲からでいい、共感するために平時から他者の尊敬と 差別撤廃

ロウルズ: 共感すべき理由=無知のヴェイル

シンガー: 地球の裏側まで共感せよ

ムクウェゲ: 共感は自らの周囲からでいい、共感するために平時から他者の尊敬と 差別撤廃

ロウルズ: 共感すべき理由=無知のヴェイル

開発経済学はどのような条件の下に置かれているかを理論モデルのなかに位置づけ、 (機会平等を期するために)どのような介入が必要か考える

13 / 67

シンガー: 地球の裏側まで共感せよ

ムクウェゲ: 共感は自らの周囲からでいい、共感するために平時から他者の尊敬と 差別撤廃

ロウルズ: 共感すべき理由=無知のヴェイル

開発経済学はどのような条件の下に置かれているかを理論モデルのなかに位置づけ、 (機会平等を期するために)どのような介入が必要か考える

共感能力が乏しくても、論理的に整理することて、問題を理解して解決策を提示で きる

世界を豊かにするためです。

2022 秋学期 14 / 67

世界を豊かにするためです。

インドには10億人以上の人がいます。

世界を豊かにするためです。

インドには10億人以上の人がいます。その20%前後が文盲です。

世界を豊かにするためです。

インドには 10 億人以上の人がいます。その 20%前後が文盲です。2 億人が追加的に 識字人口に加わると世界はどう変わるでしょうか。

世界を豊かにするためです。

インドには 10 億人以上の人がいます。その 20%前後が文盲です。2 億人が追加的に 識字人口に加わると世界はどう変わるでしょうか。

識字人口1億人に1人が素晴らしい発見をすると仮定すると、素晴らしい発見が2 個増えます。

世界を豊かにするためです。

インドには 10 億人以上の人がいます。その 20%前後が文盲です。2 億人が追加的に 識字人口に加わると世界はどう変わるでしょうか。

識字人口1億人に1人が素晴らしい発見をすると仮定すると、素晴らしい発見が2個増えます。

インドは若年人口が半分以上を占め、5億人の20%である1億人が大卒になるとし、 その1000万人に1人が素晴らしい発見をすれば、発見は10個増えます。

世界を豊かにするためです。

インドには 10 億人以上の人がいます。その 20%前後が文盲です。2 億人が追加的に 識字人口に加わると世界はどう変わるでしょうか。

識字人口1億人に1人が素晴らしい発見をすると仮定すると、素晴らしい発見が2個増えます。

インドは若年人口が半分以上を占め、5億人の20%である1億人が大卒になるとし、 その1000万人に1人が素晴らしい発見をすれば、発見は10個増えます。

新たな 12 個の素晴らしい発見によって、世界は豊かになり、あなたの生活も豊かになります。

世界を豊かにするためです。

インドには 10 億人以上の人がいます。その 20%前後が文盲です。2 億人が追加的に 識字人口に加わると世界はどう変わるでしょうか。

識字人口1億人に1人が素晴らしい発見をすると仮定すると、素晴らしい発見が2個増えます。

インドは若年人口が半分以上を占め、5億人の20%である1億人が大卒になるとし、 その1000万人に1人が素晴らしい発見をすれば、発見は10個増えます。

新たな 12 個の素晴らしい発見によって、世界は豊かになり、あなたの生活も豊かになります。

☞ 知識(発見)は廃れず誰でも使えます。公共財。

14 / 67

世界を豊かにするためです。

インドには 10 億人以上の人がいます。その 20%前後が文盲です。2 億人が追加的に 識字人口に加わると世界はどう変わるでしょうか。

識字人口1億人に1人が素晴らしい発見をすると仮定すると、素晴らしい発見が2個増えます。

インドは若年人口が半分以上を占め、5億人の20%である1億人が大卒になるとし、 その1000万人に1人が素晴らしい発見をすれば、発見は10個増えます。

新たな 12 個の素晴らしい発見によって、世界は豊かになり、あなたの生活も豊かになります。

- ☞ 知識(発見)は廃れず誰でも使えます。公共財。
- 知識生産に関わる人が多いほど所得の成長率は高まります (Kremer, 1993)。知識生産人口が減少すると成長しなくなります (Jones, forthcoming)。

I want you to rise above the cycle of punishments and rewards.

2022 秋学期 15 / 67

I want you to rise above the cycle of punishments and rewards.

This [my teaching] is information, and you can do what you want with this information.

I want you to rise above the cycle of punishments and rewards.

This [my teaching] is information, and you can do what you want with this information.

If you want to learn something, I cannot stop you.

I want you to rise above the cycle of punishments and rewards.

This [my teaching] is information, and you can do what you want with this information.

If you want to learn something, I cannot stop you. If you do not want to learn it, I cannot teach you.

I want you to rise above the cycle of punishments and rewards.

This [my teaching] is information, and you can do what you want with this information.

If you want to learn something, I cannot stop you. If you do not want to learn it, I cannot teach you.

Wynton Marsalis, a jazz trumpeter, a teacher/director of Juilliard Jazz Studies program *Freakonomics Radio*, Episode 355, 01:16:30.

Wynton

開発経済学は普通の経済学と同じ分析道具を使います。

よって、先進地域を学ぶことで発展途上地域を分析する技術を磨くことができます。 役に立つと思えるときには、日本をはじめとする先進地域の課題も取り上げます。 経済学を使って課題を理解することの利点は何でしょうか。

経済学はどのように人々が(よって社会が)変化に対して反応するか明らかにできます。ときには、意図せざる結果になることもあります。

2022 秋学期

経済学を使って課題を理解することの利点は何でしょうか。

経済学はどのように人々が (よって社会が) 変化に対して反応するか明らかにできます。ときには、意図せざる結果になることもあります。

変化に伴う資源配分の効率性(無駄が増えるか減るか)も議論します。

例 1: 中国の塾授業料上限規制

日本經濟 新期

2021年(令和3年)9月7日(火曜日)

中国、学習塾の授業料統制



中国共産党は塾への統制で少子化 を防ぐことができるでしょうか。

* 非営利団体に登記、とはすごい...

目的 家計の教育費を抑え、養育費 用を下げて出産増加を狙う。

手段 (塾の収入)授業料上限を設 定。(塾の支払) 塾講師賃金や 広告宣伝費に上限を設定。

- 授業料を下げると、塾は?家 計は?
- 賃金や広告宣伝費を下げると 塾は?

SHILL IDE

告発促す

例 1: 中国の塾授業料上限規制

告発促す

日本經濟 新期 2021年(令和3年)9月7日(火曜日) 中国、学習塾の授業料統制

目的 家計の教育費を抑え、養育費 用を下げて出産増加を狙う。

手段 (塾の収入)授業料上限を設 定。(塾の支払) 塾講師賃金や 広告宣伝費に上限を設定。

- 授業料を下げると、塾は?家 計は?
- 賃金や広告宣伝費を下げると 塾は?

中国共産党は塾への統制で少子化 を防ぐことができるでしょうか。

* 非営利団体に登記、とはすごい...

SHILL IDE

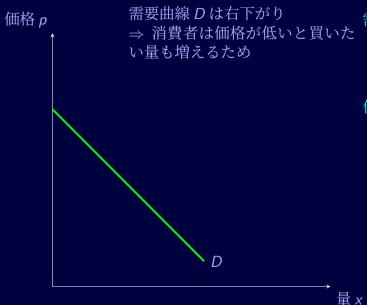
価格 p

需要曲線 ある価格のときに消 費者が買おうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した もの

供給曲線 ある価格のときに生 産者が売ろうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した もの

均衡 需要曲線と供給曲線 の交点が均衡。買い と売りが一致する ため。

量 x

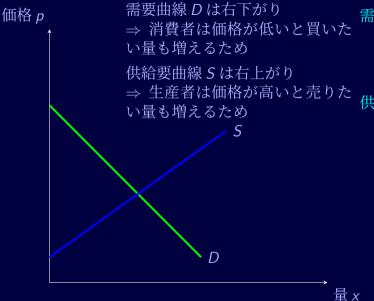


需要曲線 ある価格のときに消 費者が買おうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した もの

供給曲線 ある価格のときに生 産者が売ろうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した もの

均衡 需要曲線と供給曲線 の交点が均衡。買い と売りが一致する ため。

2022 秋学期 20 / 67

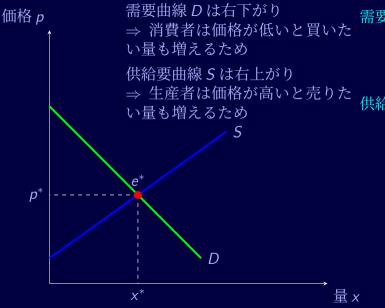


需要曲線 ある価格のときに消 費者が買おうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した *の

供給曲線 ある価格のときに生 産者が売ろうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した もの

均衡 需要曲線と供給曲線 の交点が均衡。買い と売りが一致する ため。

20 / 67

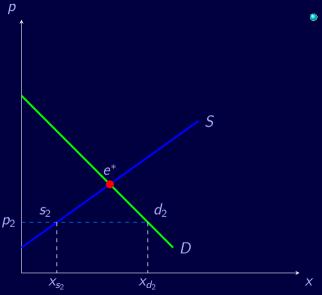


需要曲線 ある価格のときに消 費者が買おうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した *の

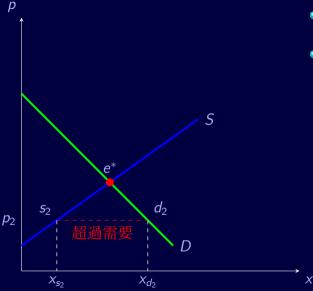
ある価格のときに生 産者が売ろうとする 量、これをあらゆる 価格水準に適用した もの

均衡 需要曲線と供給曲線 の交点が均衡。買い と売りが一致する ため。

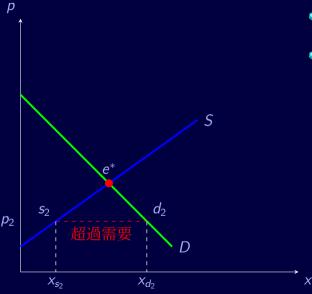
2022 秋学期 20 / 67



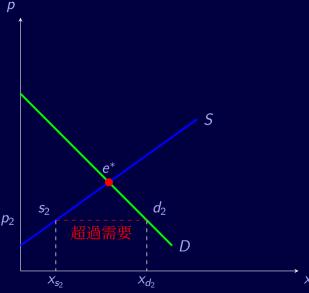
▶ 均衡 e* から価格を下げると需要が増えて供給が減る。



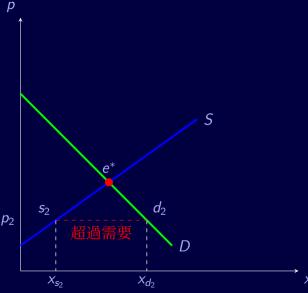
- 均衡 e* から価格を下げると需要が増えて供給が減る。
- 供給を需要に割り当てる必要。割り 当てられなかった需要分=超過需要。



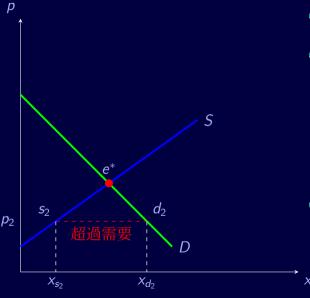
- 均衡 e* から価格を下げると需要が増えて供給が減る。
- 供給を需要に割り当てる必要。割り 当てられなかった需要分=超過需要。
 - 行列 (時間延長; 人気店)、混雑 (先着順; 高速道路、帰省ラッシュの新幹線)



- 均衡 e* から価格を下げると需要が増えて供給が減る。
- 供給を需要に割り当てる必要。割り 当てられなかった需要分=超過需要。
 - 『 行列 (時間延長; 人気店)、混雑 (先着順; 高速道路、帰省ラッシュの新幹線)
 - 闇営業=価格統制の無効化: 工場跡地や 家庭教師 [NHK 国際報道 2021、2021 年 9月22日(水)放送]

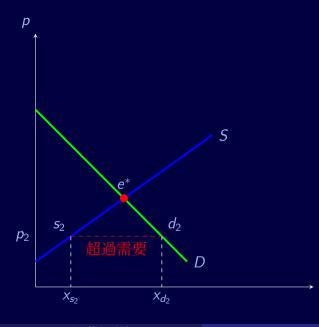


- 均衡 e* から価格を下げると需要が増えて供給が減る。
- 供給を需要に割り当てる必要。割り 当てられなかった需要分=超過需要。
 - 『 行列 (時間延長; 人気店)、混雑 (先着順; 高速道路、帰省ラッシュの新幹線)

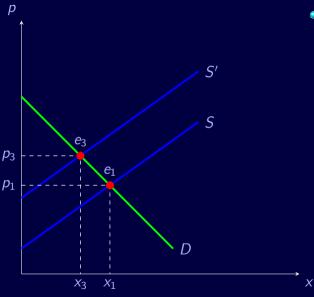


Ito (SHU, IDE)

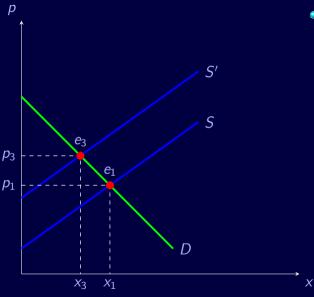
- 均衡 e* から価格を下げると需要が増えて供給が減る。
- 供給を需要に割り当てる必要。割り 当てられなかった需要分=超過需要。
 - 『 行列 (時間延長; 人気店)、混雑 (先着順; 高速道路、帰省ラッシュの新幹線)
 - 闇営業=価格統制の無効化: 工場跡地や家庭教師 [NHK 国際報道 2021、2021 年9月22日(水)放送]←価格を上げても需要があるため
- 超過需要発生理由: 価格が低すぎる



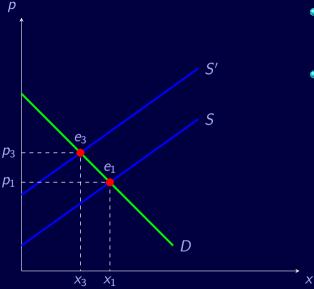
- 均衡 e* から価格を下げると需要が増 えて供給が減る。
- 供給を需要に割り当てる必要。割り 当てられなかった需要分=超過需要。
 - ☞ 行列 (時間延長; 人気店)、混雑 (先着順: 高速道路、帰省ラッシュの新幹線)
 - ☞ 闇営業=価格統制の無効化: 工場跡地や 家庭教師 [NHK 国際報道 2021、2021 年 9月22日(水)放送]←価格を上げても 需要があるため
- 超過需要発生理由: 価格が低すぎる
- 供給曲線が動かないとき、需要曲線 を下に移動させなければ、価格を下 げながら均衡を保つ(=超過需要を発 x 生させない) ことはできない
 - ☞ 塾需要を抑えるの <u>(下に移動)</u> は無理^{shu, iob}



☞ 量も増える。



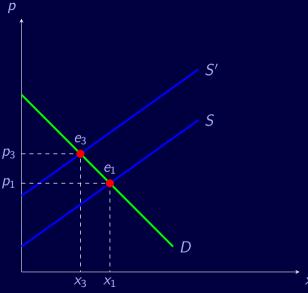
☞ 量も増える。



☞ 量も増える。

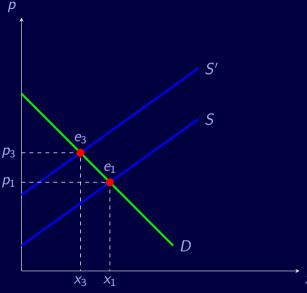
● 供給曲線を下に移動=同じ価格でより多い量 を供給する、同じ量をより低い価格で供給 する

SHU. IDE



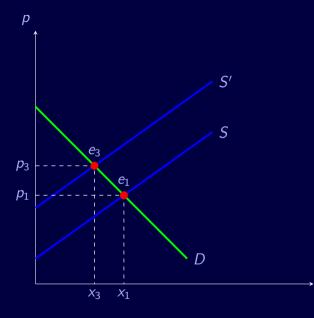
☞ 量も増える。

- 供給曲線を下に移動=同じ価格でより多い量を供給する、同じ量をより低い価格で供給する
- 供給曲線が下に移動する場合:費用が安くなったとき、生産性が高まったとき



☞ 量も増える。

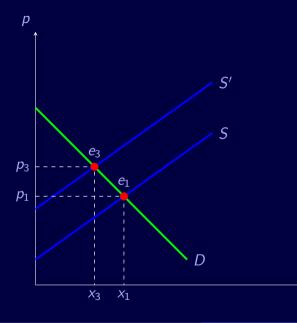
- 供給曲線を下に移動=同じ価格でより多い量 を供給する、同じ量をより低い価格で供給 する
- 供給曲線が下に移動する場合:費用が安く なったとき、生産性が高まったとき
- 塾講師の賃金を下げつつ、同じだけの授業数 を供給できるか?塾講師が(自らの意思に反 して)より低い賃金で働くときのみ。



☞ 量も増える。

- 供給曲線を下に移動=同じ価格でより多い量 を供給する、同じ量をより低い価格で供給 する
- 供給曲線が下に移動する場合:費用が安く なったとき、生産性が高まったとき
- 塾講師の賃金を下げつつ、同じだけの授業数を供給できるか?塾講師が(自らの意思に反して)より低い賃金で働くときのみ。
- 生産性上昇なしに同じ授業数を低い価格で提供するには、誰か (塾講師、経営者、地主など)が安くサービスを提供しなくてはならない。

SHU. ID



☞ 量も増える。

- 供給曲線を下に移動=同じ価格でより多い量 を供給する、同じ量をより低い価格で供給 する
- 供給曲線が下に移動する場合: 費用が安く なったとき、生産性が高まったとき
- 塾講師の賃金を下げつつ、同じだけの授業数を供給できるか?塾講師が(自らの意思に反して)より低い賃金で働くときのみ。
- 生産性上昇なしに同じ授業数を低い価格で提供するには、誰か (塾講師、経営者、地主など)が安くサービスを提供しなくてはならない。
- ★ 共産党の強制:芸能人の逮捕、企業グループ。の上場停止、企業グループトップの客付

Ito (SHU, IDE)

超過需要が発生し、同じ授業料を払っても塾には入れない人が出てくる。

2022 秋学期 23 / 67

超過需要が発生し、同じ授業料を払っても塾には入れない人が出てくる。

塾側に費用を切り下げるように強要すると、塾にサービスを提供している人の稼ぎ が減る。塾オーナーが自分の取り分を削る場合には塾オーナーの稼ぎが減る。

超過需要が発生し、同じ授業料を払っても塾には入れない人が出てくる。

塾側に費用を切り下げるように強要すると、塾にサービスを提供している人の稼ぎが減る。塾オーナーが自分の取り分を削る場合には塾オーナーの稼ぎが減る。

短期 強制力に屈して我慢するだろう。供給曲線が下に移動。

超過需要が発生し、同じ授業料を払っても塾には入れない人が出てくる。

塾側に費用を切り下げるように強要すると、塾にサービスを提供している人の稼ぎが減る。塾オーナーが自分の取り分を削る場合には塾オーナーの稼ぎが減る。

短期 強制力に屈して我慢するだろう。供給曲線が下に移動。

長期 塾講師や塾オーナーが減り、同じ価格での塾サービスの供給が減る。供給曲線が上に移動。最初より悪化するかも。

超過需要が発生し、同じ授業料を払っても塾には入れない人が出てくる。

塾側に費用を切り下げるように強要すると、塾にサービスを提供している人の稼ぎが減る。塾オーナーが自分の取り分を削る場合には塾オーナーの稼ぎが減る。

短期 強制力に屈して我慢するだろう。供給曲線が下に移動。

長期 塾講師や塾オーナーが減り、同じ価格での塾サービスの供給が減る。供給曲線が上に移動。最初より悪化するかも。

ほぼ確実に養育費用は下がらない。よって、ほぼ確実に出生率も上がらない。

超過需要が発生し、同じ授業料を払っても塾には入れない人が出てくる。

塾側に費用を切り下げるように強要すると、塾にサービスを提供している人の稼ぎが減る。塾オーナーが自分の取り分を削る場合には塾オーナーの稼ぎが減る。

短期 強制力に屈して我慢するだろう。供給曲線が下に移動。

長期 塾講師や塾オーナーが減り、同じ価格での塾サービスの供給が減る。供 給曲線が上に移動。最初より悪化するかも。

ほぼ確実に養育費用は下がらない。よって、ほぼ確実に出生率も上がらない。

Take away: 市場を強権で統制しても、望んだ結果を都合よく得られると限らない。

23 / 67

超過需要が発生し、同じ授業料を払っても塾には入れない人が出てくる。

塾側に費用を切り下げるように強要すると、塾にサービスを提供している人の稼ぎが減る。塾オーナーが自分の取り分を削る場合には塾オーナーの稼ぎが減る。

短期 強制力に屈して我慢するだろう。供給曲線が下に移動。

長期 塾講師や塾オーナーが減り、同じ価格での塾サービスの供給が減る。供 給曲線が上に移動。最初より悪化するかも。

ほぼ確実に養育費用は下がらない。よって、ほぼ確実に出生率も上がらない。

Take away: 市場を強権で統制しても、望んだ結果を都合よく得られると限らない。

そもそもこんな政府の下だと、養えても子どもを持つ気が失せる、と思う。

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 1 2022 秋学期

では、どうすれば養育費用を下げられるか。

では、どうすれば養育費用を下げられるか。

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

月 24 / 67

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用 直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

SHU, IDE 24 / 67

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

機会費用 子どものために時間を使うことで失う所得。高所得者ほど大きい。

24 / 67

2022 秋学期

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

機会費用子どものために時間を使うことで失う所得。高所得者ほど大きい。

養育サービス内容が同じ場合、一人当たり (とくに女性) の所得水準が上がる限り= 国が豊かになる限り

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

機会費用 子どものために時間を使うことで失う所得。高所得者ほど大きい。

養育サービス内容が同じ場合、一人当たり (とくに女性) の所得水準が上がる限り= 国が豊かになる限り

機会費用は上昇、所得と並行して上昇

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

機会費用 子どものために時間を使うことで失う所得。高所得者ほど大きい。

養育サービス内容が同じ場合、一人当たり (とくに女性) の所得水準が上がる限り= 国が豊かになる限り

- 機会費用は上昇、所得と並行して上昇
- 直接費用は上昇する可能性はあるが、所得と比べて相対的に低下

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

機会費用子どものために時間を使うことで失う所得。高所得者ほど大きい。

養育サービス内容が同じ場合、一人当たり (とくに女性) の所得水準が上がる限り= 国が豊かになる限り

- 機会費用は上昇、所得と並行して上昇
- 直接費用は上昇する可能性はあるが、所得と比べて相対的に低下

保育園や学校への補助金は直接費用を下げる。児童手当や利用料減免は所得が低い ほど給付額が多い(高所得者はゼロな)ので、機会費用が低い人の機会費用を下げる。

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

機会費用子どものために時間を使うことで失う所得。高所得者ほど大きい。

養育サービス内容が同じ場合、一人当たり (とくに女性) の所得水準が上がる限り= 国が豊かになる限り

- 機会費用は上昇、所得と並行して上昇
- 直接費用は上昇する可能性はあるが、所得と比べて相対的に低下

保育園や学校への補助金は直接費用を下げる。児童手当や利用料減免は所得が低いほど給付額が多い(高所得者はゼロな)ので、機会費用が低い人の機会費用を下げる。

機会費用を下げる手段は、保育時間を減らす手段(保育サービス供給)拡大、子どもペナルティ軽減義務化(出産育児休業の整備)以外になさそう

養育費用とは子どもの保護者が養育のために支払う費用

直接費用 子どもの生活費、保育費、教育費など。

機会費用 子どものために時間を使うことで失う所得。高所得者ほど大きい。

養育サービス内容が同じ場合、一人当たり (とくに女性) の所得水準が上がる限り= 国が豊かになる限り

- 機会費用は上昇、所得と並行して上昇
- 直接費用は上昇する可能性はあるが、所得と比べて相対的に低下

保育園や学校への補助金は直接費用を下げる。児童手当や利用料減免は所得が低い ほど給付額が多い(高所得者はゼロな)ので、機会費用が低い人の機会費用を下げる。

機会費用を下げる手段は、保育時間を減らす手段(保育サービス供給)拡大、子どもペナルティ軽減義務化(出産育児休業の整備)以外になさそう

日本: 待機児童、待機学童、女性の管理職登用目標 30%(2022 年、課長で 11.5%) SHU, IDE 1002 (SHU, IDE) 2022 秋学期 24/67

25 / 67

背景 収監は犯罪対策としては費用が高い。637,000人の服役囚が毎年出所するが2/3が3年以内に再服役する。2001年生まれの男性のうち、アフリカ系32%、ヒスパニック系17%、白人6%が1度は服役する。収監は再犯防止効果を上げていない。とくにアフリカ系男性。

背景 収監は犯罪対策としては費用が高い。637,000人の服役囚が毎年出所するが2/3が3年以内に再服役する。2001年生まれの男性のうち、アフリカ系32%、ヒスパニック系17%、白人6%が1度は服役する。収監は再犯防止効果を上げていない。とくにアフリカ系男性。

雇用は効果あり 雇用機会を増やすと recividism (再犯) 確率が減ることがデータで示されている。

背景 収監は犯罪対策としては費用が高い。637,000 人の服役囚が毎年出所するが2/3が3年以内に再服役する。2001 年生まれの男性のうち、アフリカ系 32%、ヒスパニック系 17%、白人 6%が 1 度は服役する。収監は再犯防止効果を上げていない。とくにアフリカ系男性。

雇用は効果あり 雇用機会を増やすと recividism (再犯) 確率が減ることがデータで示されている。

'The Box'求職応募用紙

Have you ever been arrested and imprisoned?

☐ Yes. ☐ No.

Ito (SHU, IDE) 1 2022 秋学期 25 / 67

学期 26 / 67

☞ 職場での犯罪を避けるため。

☞ 職場の犯罪は生産費用を高めるため。

☞ 職場での犯罪を避けるため。

☞ 職場の犯罪は生産費用を高めるため。

これは就業差別です。

☞ 職場での犯罪を避けるため。

☞ 職場の犯罪は生産費用を高めるため。

これは就業差別です。

➡ 前科のある人をまだ起こしてもいない犯罪を根拠に雇用しないため。

☞ 職場での犯罪を避けるため。

☞ 職場の犯罪は生産費用を高めるため。

これは就業差別です。

▶ 前科のある人をまだ起こしてもいない犯罪を根拠に雇用しないため。

不公平に見えますし、前科のある人に厳しすぎるように見えます。

☞ 職場での犯罪を避けるため。

☞ 職場の犯罪は生産費用を高めるため。

これは就業差別です。

☞ 前科のある人をまだ起こしてもいない犯罪を根拠に雇用しないため。

不公平に見えますし、前科のある人に厳しすぎるように見えます。でも、雇用主に とっては経済合理性があります。なので、無くなりません。

☞ 職場での犯罪を避けるため。

☞ 職場の犯罪は生産費用を高めるため。

これは就業差別です。

☞ 前科のある人をまだ起こしてもいない犯罪を根拠に雇用しないため。

不公平に見えますし、前科のある人に厳しすぎるように見えます。でも、雇用主に とっては経済合理性があります。なので、無くなりません。

企業は前科のない人を雇おうとします。前科のある人を雇い、犯罪が発生して余計にかかる費用の期待値の範囲内で、前科のない人の賃金にプレミアムを上乗せすることも厭いません。

☞ 職場での犯罪を避けるため。

☞ 職場の犯罪は生産費用を高めるため。

これは就業差別です。

☞ 前科のある人をまだ起こしてもいない犯罪を根拠に雇用しないため。

不公平に見えますし、前科のある人に厳しすぎるように見えます。でも、雇用主に とっては経済合理性があります。なので、無くなりません。

企業は前科のない人を雇おうとします。前科のある人を雇い、犯罪が発生して余計 にかかる費用の期待値の範囲内で、前科のない人の賃金にプレミアムを上乗せする ことも厭いません。

■ 前科のある人を雇うと犯罪により期待値で 10 万円費用が余計にかかるとき →10 万円余計に払っても犯罪歴のない人を雇う、前科のある人を (10 万円安く 雇うことは明確な差別になるので) 雇わない

Ban The Box movement 「雇用主が前科を知らなければ、job-ready な前科のある人は面接でチャンスを得られる。」犯罪歴を尋ねるのを採用の一定段階以降まで遅らせるよう雇用主に求めた。Law passed in Hawaii (1998) ... Federal Government employment (2015). 34 states and DC in 2015.

Ban The Box movement 「雇用主が前科を知らなければ、job-ready な前科のある人は面接でチャンスを得られる。」犯罪歴を尋ねるのを採用の一定段階以降まで遅らせるよう雇用主に求めた。Law passed in Hawaii (1998) ... Federal Government employment (2015). 34 states and DC in 2015.

意図はよし。BTB 政策は前科のある人を助け、犯罪の社会費用を減らそうとしています。The intention is good. BTB policy wants to help the ex-offenders and reduce the costs of crimes to the society.

Ban The Box movement 「雇用主が前科を知らなければ、job-ready な前科のある人は面接でチャンスを得られる。」犯罪歴を尋ねるのを採用の一定段階以降まで遅らせるよう雇用主に求めた。Law passed in Hawaii (1998) ... Federal Government employment (2015). 34 states and DC in 2015.

意図はよし。BTB 政策は前科のある人を助け、犯罪の社会費用を減らそうとしています。The intention is good. BTB policy wants to help the ex-offenders and reduce the costs of crimes to the society.

政策は意図した効果があったでしょうか?Did the policy have the intended impacts?

Ban The Box movement 「雇用主が前科を知らなければ、job-ready な前科のある人は面接でチャンスを得られる。」犯罪歴を尋ねるのを採用の一定段階以降まで遅らせるよう雇用主に求めた。Law passed in Hawaii (1998) ... Federal Government employment (2015). 34 states and DC in 2015.

意図はよし。BTB 政策は前科のある人を助け、犯罪の社会費用を減らそうとしています。The intention is good. BTB policy wants to help the ex-offenders and reduce the costs of crimes to the society.

政策は意図した効果があったでしょうか?Did the policy have the intended impacts?

What do you expect the impacts of BTB policy?

a. Increase
b. Do not change
c. Reduce
mployment and
reduce
do not change
increase
recividism.

27 / 67

Ito (SHU, IDE)

2022 秋学期 28 / 67

若い黒人男性:

a. Increase
b. Do not change
c. Reduce
recividism.
increase

若い黒人男性:

 $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \\ \\ \\ \end{array} \right\}$ employment and $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \\ \end{array} \right\}$ recividism.

若い黒人男性:

 $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \\ \\ \\ \end{array} \right.$ employment and $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \\ \end{array} \right.$ increase $\left. \begin{array}{c} \\ \\ \end{array} \right\}$ recividism.

推計された効果:

• 若い (25-34) アフリカ系アメリカ人 YAAs 男性の雇用は 3.4%減少

若い黒人男性:

 $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \\ \\ \end{array} \right\}$ employment and $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \end{array} \right\}$ recividism.

推計された効果:

- 若い (25-34) アフリカ系アメリカ人 YAAs 男性の雇用は 3.4%減少
- 若いヒスパニック系 YHs 男性の雇用も減少したが、推計値は不正確で統計学的にゼロと違わなかった。their estimates are imprecise and they are statistically not different from zero.

若い黒人男性:

$$\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \\ \\ \end{array} \right\}$$
 employment and $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \end{array} \right\}$ recividism.

推計された効果:

- 若い (25-34) アフリカ系アメリカ人 YAAs 男性の雇用は 3.4%減少
- 若いヒスパニック系 YHs 男性の雇用も減少したが、推計値は不正確で統計学的にゼロと違わなかった。their estimates are imprecise and they are statistically not different from zero.

☞ 失業率の高い地域で減少幅が大きかった。

若い黒人男性:

 $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \\ \\ \end{array} \right\}$ employment and $\left\{ \begin{array}{c} \\ \\ \end{array} \right\}$ recividism.

推計された効果:

- 若い (25-34) アフリカ系アメリカ人 YAAs 男性の雇用は 3.4%減少
- 若いヒスパニック系 YHs 男性の雇用も減少したが、推計値は不正確で統計学的にゼロと違わなかった。their estimates are imprecise and they are statistically not different from zero.
 - □ 失業率の高い地域で減少幅が大きかった。
 - Mark YAAs, YHs が人口で占める割合が高い地域では減少しなかった (Cannot discriminate when majority residents are AA or H.)

若い黒人男性:

c. Reduce employment and contract the contract of the contract

推計された効果:

- 若い (25-34) アフリカ系アメリカ人 YAAs 男性の雇用は 3.4%減少
- 若いヒスパニック系 YHs 男性の雇用も減少したが、推計値は不正確で統計学的 にゼロと違わなかった。their estimates are imprecise and they are statistically not different from zero.
 - □ 失業率の高い地域で減少幅が大きかった。
 - IS YAAs, YHs が人口で占める割合が高い地域では減少しなかった (Cannot discriminate when majority residents are AA or H.)
- 以下のグループは雇用が増えた: 年齢が上(35-64)で高卒 AA 男性、年齢が上で 大卒 AA 女性、年齢が上で高卒 H 女性。

H 20 / 67

雇用主は、犯罪歴を知ることができないと、他の情報から犯罪歴の有無を類推しようとします。

2022 秋学期 29 / 67

雇用主は、犯罪歴を知ることができないと、他の情報から犯罪歴の有無を類推しようとします。

観察可能な属性: Race, age, gender, education, locality, etc.

雇用主は、犯罪歴を知ることができないと、他の情報から犯罪歴の有無を類推しようとします。

観察可能な属性: Race, age, gender, education, locality, etc.

雇用主は人種、年齢、ジェンダー、学歴などを使った模様。若い高卒アフリカ系男性は避けられました。犯罪歴を持つ確率が高いため。

雇用主は、犯罪歴を知ることができないと、他の情報から犯罪歴の有無を類推しようとします。

観察可能な属性: Race, age, gender, education, locality, etc.

雇用主は、犯罪歴を知ることができないと、他の情報から犯罪歴の有無を類推しよ うとします。

観察可能な属性: Race, age, gender, education, locality, etc.

雇用主は人種、年齢、ジェンダー、学歴などを使った模様。若い高卒アフリカ系男 性は避けられました。犯罪歴を持つ確率が高いため。

統計的差別 statistical discrimination 観察可能な属性を使ってネガティブな属 性を類推し差別すること。ネガティブ・ ステレオタイピング。Using observable characteristics to infer a negative trait (and discriminate). A negative stereotyping.

雇用主は、犯罪歴を知ることができないと、他の情報から犯罪歴の有無を類推しよ うとします。

観察可能な属性: Race, age, gender, education, locality, etc.

雇用主は人種、年齢、ジェンダー、学歴などを使った模様。若い高卒アフリカ系男 性は避けられました。犯罪歴を持つ確率が高いため。

統計的差別 statistical discrimination 観察可能な属性を使ってネガティブな属 性を類推し差別すること。ネガティブ・ ステレオタイピング。Using observable characteristics to infer a negative trait (and discriminate). A negative stereotyping.

選好による差別 taste based discrimination 好みや信念による差別。Discrimination

out of preferences or beliefs.

29 / 67

SHU, IDE

企業はリスクの最も高いグループを避け、リスクの低いグループで代替

SHIL IDE

企業はリスクの最も高いグループを避け、リスクの低いグループで代替

もしも、全ての人がアフリカ系だったら、BTB政策は効果が無いはず。全ての人を 却下できないため。アフリカ系人口比率の高い南部では効果は無かった。

企業はリスクの最も高いグループを避け、リスクの低いグループで代替

もしも、全ての人がアフリカ系だったら、BTB政策は効果が無いはず。全ての人を 却下できないため。アフリカ系人口比率の高い南部では効果は無かった。

労働市場が緩むと代替できるグループの人数が増えるので、失業率が高いと BTB 政策の影響が強まります。

■ 採用には多額の費用がかかるため、後で犯罪歴を聞いて落とし、採用費用を無駄にする可能性が高い人をそもそも選考対象にしない方が費用が低い。

2022 秋学期 31 / 67

SHIL IDE

■ 採用には多額の費用がかかるため、後で犯罪歴を聞いて落とし、採用費用を無 駄にする可能性が高い人をそもそも選考対象にしない方が費用が低い。

雇用主から情報を奪うことで、職場犯罪を防ぐという根源的な問題を解決できません。

31 / 67

■ 採用には多額の費用がかかるため、後で犯罪歴を聞いて落とし、採用費用を無駄にする可能性が高い人をそもそも選考対象にしない方が費用が低い。

雇用主から情報を奪うことで、職場犯罪を防ぐという根源的な問題を解決できません。

■ 犯罪歴のある人の雇用を増やしたいのであれば、犯罪歴のある人を訓練し、雇 うことで利益が増えるようなインセンティブを企業に与える必要があります。

☞ 例えば、補助金など。

■ 採用には多額の費用がかかるため、後で犯罪歴を聞いて落とし、採用費用を無駄にする可能性が高い人をそもそも選考対象にしない方が費用が低い。

雇用主から情報を奪うことで、職場犯罪を防ぐという根源的な問題を解決できません。

- 犯罪歴のある人の雇用を増やしたいのであれば、犯罪歴のある人を訓練し、雇 うことで利益が増えるようなインセンティブを企業に与える必要があります。
- ☞ 例えば、補助金など。
- ☞ なぜ BTB 政策?政府に費用がかからないので実施しやすい。象徴的でアピールしやすい。

■ 採用には多額の費用がかかるため、後で犯罪歴を聞いて落とし、採用費用を無駄にする可能性が高い人をそもそも選考対象にしない方が費用が低い。

雇用主から情報を奪うことで、職場犯罪を防ぐという根源的な問題を解決できません。

- 犯罪歴のある人の雇用を増やしたいのであれば、犯罪歴のある人を訓練し、雇 うことで利益が増えるようなインセンティブを企業に与える必要があります。
- ☞ 例えば、補助金など。
- ☞ なぜ BTB 政策?政府に費用がかからないので実施しやすい。象徴的でアピールしやすい。

意図はよいが、雇用主の反応を考えない政策。基本的な経済理論 (「同じものなら安い方が選ばれる」) を考えれば、雇用主の反応は予想できたはず。残念。

31 / 67

■ 採用には多額の費用がかかるため、後で犯罪歴を聞いて落とし、採用費用を無駄にする可能性が高い人をそもそも選考対象にしない方が費用が低い。

雇用主から情報を奪うことで、職場犯罪を防ぐという根源的な問題を解決できません。

- 犯罪歴のある人の雇用を増やしたいのであれば、犯罪歴のある人を訓練し、雇 うことで利益が増えるようなインセンティブを企業に与える必要があります。
- ☞ 例えば、補助金など。
- ☞ なぜ BTB 政策?政府に費用がかからないので実施しやすい。象徴的でアピール しやすい。

意図はよいが、雇用主の反応を考えない政策。基本的な経済理論(「同じものなら安い方が選ばれる」)を考えれば、雇用主の反応は予想できたはず。残念。

BTB 政策は若いアフリカ系男性の雇用を奪うことで、雇われていれば何もしなかった人を犯罪に走らせた可能性すらあります。重ねて残念。

50-60 年代 ビッグ・アイディアの時代: 貧困の罠 (ビッグプッシュ)、経済成長モデル、移転問題、ルイス・モデルなど。市場機能は軽視されがち。

32 / 67

50-60年代 ビッグ・アイディアの時代: 貧困の罠 (ビッグプッシュ)、経済成長モデル、移転問題、ルイス・モデルなど。市場機能は軽視されがち。

70年代 「新古典派の再興」Neoclassical resurgence。教科書的経済理論への回帰。貧しいが合理的 poor but rational、最適化する経済主体として分析、ミクロ経済モデルとミクロデータを組み合わせた研究の始まり。

SHU, IDE

- 50-60年代 ビッグ・アイディアの時代: 貧困の罠 (ビッグプッシュ)、経済成長モデル、移転問題、ルイス・モデルなど。市場機能は軽視されがち。
 - 70年代 「新古典派の再興」Neoclassical resurgence。教科書的経済理論への回帰。貧しいが合理的 poor but rational、最適化する経済主体として分析、ミクロ経済モデルとミクロデータを組み合わせた研究の始まり。
- 80-90 年代 市場の不完全性とインセンティブに注目。情報の非対称性、不完備契約、家計内資源配分。市場の失敗を修正する介入で厚生改善。

- 50-60 年代 ビッグ・アイディアの時代: 貧困の罠 (ビッグプッシュ)、経済成長モデ ル、移転問題、ルイス・モデルなど。市場機能は軽視されがち。
 - 70 年代 「新古典派の再興」Neoclassical resurgence。教科書的経済理論への回帰。貧しいが合理的 poor but rational、最適化する経済主体として分析、 ミクロ経済モデルとミクロデータを組み合わせた研究の始まり。
- 80-90 年代 市場の不完全性とインセンティブに注目。情報の非対称性、不完備契 約、家計内資源配分。市場の失敗を修正する介入で厚生改善。
 - 00年代 制度・慣行への注目と実験 (ランダム化比較試験 randomised controlled trials, RCTs) の流行。制度・慣行は市場の失敗への対応として捉える。 実験は "Let's take the con out of econometrics" への対応 (Leamer, 1983)。

32 / 67

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

- 50-60年代 ビッグ・アイディアの時代: 貧困の罠 (ビッグプッシュ)、経済成長モデル、移転問題、ルイス・モデルなど。市場機能は軽視されがち。
 - 70 年代 「新古典派の再興」Neoclassical resurgence。教科書的経済理論への回帰。貧しいが合理的 poor but rational、最適化する経済主体として分析、ミクロ経済モデルとミクロデータを組み合わせた研究の始まり。
- 80-90年代 市場の不完全性とインセンティブに注目。情報の非対称性、不完備契約、家計内資源配分。市場の失敗を修正する介入で厚生改善。
 - 00 年代 制度・慣行への注目と実験 (ランダム化比較試験 randomised controlled trials, RCTs) の流行。制度・慣行は市場の失敗への対応として捉える。 実験は "Let's take the con out of econometrics" への対応 (Leamer, 1983)。
 - 10年代 認知バイアスに注目。心理学と経済学の融合=行動経済学の応用。貧しくて非合理的。誰もが非合理的。

32 / 67

- 50-60 年代 ビッグ・アイディアの時代: 貧困の罠 (ビッグプッシュ)、経済成長モデ <u>ル、移転問題、</u>ルイス・モデルなど。市場機能は軽視されがち。
 - 70 年代 「新古典派の再興」Neoclassical resurgence。教科書的経済理論への回帰。貧しいが合理的 poor but rational、最適化する経済主体として分析、 ミクロ経済モデルとミクロデータを組み合わせた研究の始まり。
- 80-90 年代 市場の不完全性とインセンティブに注目。情報の非対称性、不完備契 約、家計内資源配分。市場の失敗を修正する介入で厚生改善。
 - 00年代 制度・慣行への注目と実験 (ランダム化比較試験 randomised controlled trials, RCTs) の流行。制度・慣行は市場の失敗への対応として捉える。 実験は "Let's take the con out of econometrics" への対応 (Leamer, 1983)。
 - 10年代 認知バイアスに注目。心理学と経済学の融合=行動経済学の応用。貧し くて非合理的。誰もが非合理的。
 - 20年代 データへの着目。行政データや衛星画像などの活用。

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期 32 / 67

50's-60's Formation of great ideas: Poverty trap (big push), economic growth models, transfer paradox, Lewis model, etc. Less attention to market.

SHU, IDE

- 50's-60's Formation of great ideas: Poverty trap (big push), economic growth models, transfer paradox, Lewis model, etc. Less attention to market.
 - 70's "Neoclassical resurgence". Poor but rational. Explicit treatments of optimising agents. Seminal works combining microconomic models and micro data.

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期 33/67

- 50's-60's Formation of great ideas: Poverty trap (big push), economic growth models, transfer paradox, Lewis model, etc. Less attention to market.
 - 70's "Neoclassical resurgence". Poor but rational. Explicit treatments of optimising agents. Seminal works combining microconomic models and micro data.
- 80's-90's Market imperfection and incentives. Information assymetry, imcomplete contracts, intrahousehold barganing, etc. Pareto improvements by corrective interventions.

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期 33/67

- 50's-60's Formation of great ideas: Poverty trap (big push), economic growth models, transfer paradox, Lewis model, etc. Less attention to market.
 - 70's "Neoclassical resurgence". Poor but rational. Explicit treatments of optimising agents. Seminal works combining microconomic models and micro data.
- 80's-90's Market imperfection and incentives. Information assymetry, imcomplete contracts, intrahousehold barganing, etc. Pareto improvements by corrective interventions.
 - 00's Institutions and RCTs. Existing institutions as responses to market failures. RCTs as a response to "Let's take the con out of econometrics" (Leamer, 1983).

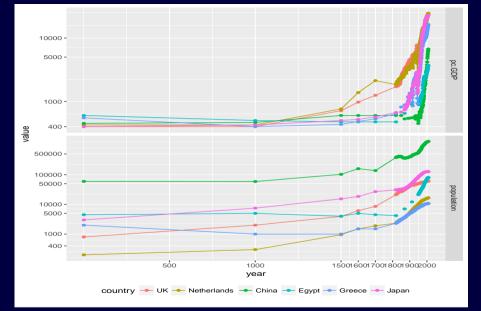
Ito (SHU, IDE) 1 2022 秋学期 33/67

- 50's-60's Formation of great ideas: Poverty trap (big push), economic growth models, transfer paradox, Lewis model, etc. Less attention to market.
 - 70's "Neoclassical resurgence". Poor but rational. Explicit treatments of optimising agents. Seminal works combining microconomic models and micro data.
- 80's-90's Market imperfection and incentives. Information assymetry, imcomplete contracts, intrahousehold barganing, etc. Pareto improvements by corrective interventions.
 - 00's Institutions and RCTs. Existing institutions as responses to market failures. RCTs as a response to "Let's take the con out of econometrics" (Leamer, 1983).
 - 10's Cognitive biases. Poor and irrational. Later, everyone is irrational.

Ito (SHU, IDE) 1 2022 秋学期 33/67

- 50's-60's Formation of great ideas: Poverty trap (big push), economic growth models, transfer paradox, Lewis model, etc. Less attention to market.
 - 70's "Neoclassical resurgence". Poor but rational. Explicit treatments of optimising agents. Seminal works combining microconomic models and micro data.
- 80's-90's Market imperfection and incentives. Information assymetry, imcomplete contracts, intrahousehold barganing, etc. Pareto improvements by corrective interventions.
 - 00's Institutions and RCTs. Existing institutions as responses to market failures. RCTs as a response to "Let's take the con out of econometrics" (Leamer, 1983).
 - 10's Cognitive biases. Poor and irrational. Later, everyone is irrational.
 - 20's Focus on data. Use of administrative data, satelite imagery.

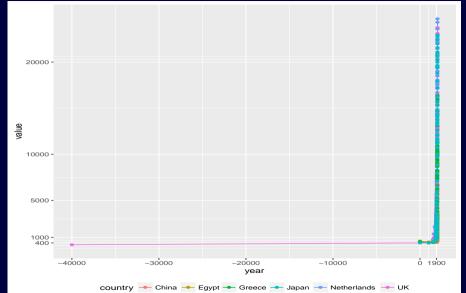
Ito (SHU, IDE) 1 2022 秋学期 33/67



Source: Angus Maddison. Ito (SHU, IDE)

SHU, IDE

Per capita income since the beginning. (I made up \$200 in 40000BC.)



2022 秋学期

SHU, IDE

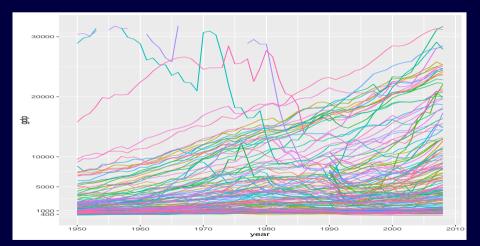
incomes across the globe

次のページで 1960 年からの一人あたり所得が図に描かれています。どのようなパタンを予想しますか。 以下は 2008 年時点の一人あたり所得です。大きな格差です。1960 年から差は縮まったでしょうか。

1	Zaire	249	Hong Kong	31704
2	Burundi	479	USA	31178
3	Niger	514	Norway	28500
4	Centr. Afr. Rep.	536	Singapore	28107
5	Comoro Islands	549	Ireland	27898
6	Togo	606	Australia	25301
7	Guinea Bissau	617	Canada	25267
8	Guinea	628	Switzerland	25104
9	Sierra Leone	686	Netherlands	24695
10	Haiti	686	Denmark	24621
Ito (SHU, IDE)				

36 / 67

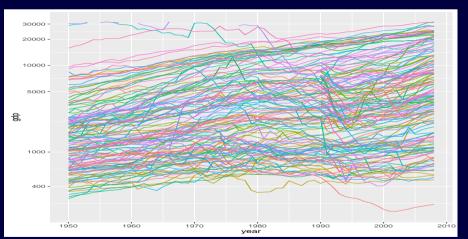
incomes across the globe



Source: Angus Maddison.

SHU, IDE

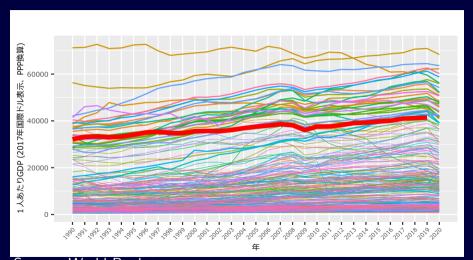
incomes across the globe



Log scale does not give a clearer picture...

Source: Angus Maddison.

incomes across the globe, 1990-2020



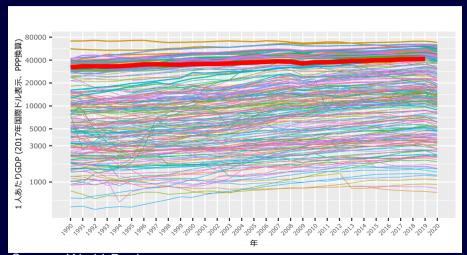
- 赤が日本
- 2019 年時点 で日本より も豊かな国 は太線
- それ以外は 細線
- (1990年に 20000ドル 以下で日本 を追い抜い たのはマル タと韓国)

Source: World Bank https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.PCAP.PP.KD.

SHU, IDE

incomes across the globe, 1990-2020

Ito (SHU, IDE)



- 縦軸は対数 目盛
- ・ 大小同す対すいばえ きさ時る数る値らる をなにと目とがけ がよて

Source: World Bank https://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.PCAP.PP.KD.

The message is clear.

Poor countries are not catching up the rich countries.

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

Poor countries are not catching up the rich countries.

なお、1990 年代以降は貧しい国も先進国にキャッチアップしつつあるという研究が最近出てきています (Kremer et al., 2022) が、事実は認識されたものの、推計方法への注文が付いており (Acemoglu and Molina, 2021)、ゆっくりキャッチアップしつつある理由、持続するかなど、解釈にはコンセンサスができていません。

Poor countries are not catching up the rich countries.

なお、1990 年代以降は貧しい国も先進国にキャッチアップしつつあるという研究が最近出てきています (Kremer et al., 2022) が、事実は認識されたものの、推計方法への注文が付いており (Acemoglu and Molina, 2021)、ゆっくりキャッチアップしつつある理由、持続するかなど、解釈にはコンセンサスができていません。

国の平均値を比べるだけだと貧困が見落とされるという指摘もあります (Pande and Enevoldsen, 2021)。

Poor countries are not catching up the rich countries.

なお、1990 年代以降は貧しい国も先進国にキャッチアップしつつあるという研究が最近出てきています (Kremer et al., 2022)が、事実は認識されたものの、推計方法への注文が付いており (Acemoglu and Molina, 2021)、ゆっくりキャッチアップしつつある理由、持続するかなど、解釈にはコンセンサスができていません。

国の平均値を比べるだけだと貧困が見落とされるという指摘もあります (Pande and Enevoldsen, 2021)。中所得国になった国 (インド、バングラデシュ、ナイジェリアなどの人口大国) にも多数の貧困層がいる、

Poor countries are not catching up the rich countries.

なお、1990 年代以降は貧しい国も先進国にキャッチアップしつつあるという研究が最近出てきています (Kremer et al., 2022)が、事実は認識されたものの、推計方法への注文が付いており (Acemoglu and Molina, 2021)、ゆっくりキャッチアップしつつある理由、持続するかなど、解釈にはコンセンサスができていません。

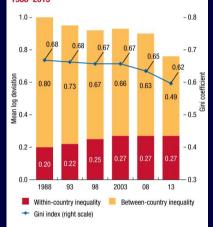
国の平均値を比べるだけだと貧困が見落とされるという指摘もあります (Pande and Enevoldsen, 2021)。中所得国になった国 (インド、バングラデシュ、ナイジェリアなどの人口大国) にも多数の貧困層がいる、つまり、貧困問題を考えるために低所得国だけを対象にすると、多くの貧困層を見失います。

低所得国と近かった中所得国が高所得国との差を縮めると各国間の所得不平等は減るが、中所得国がさらに高所得国に近づくと低所得国と中所得国の差が広がるため、いずれは各国間の所得不平等が増すという指摘もあります (Kanbur et al., 2022)。

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988–2013



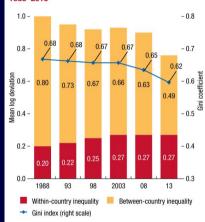
Sources: Lakner and Milanović 2016; Milanović 2016; and World Bank 2016.

Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of

mean log deviation. Hed bars show corresponding level or population-weighted inequality within countries; yellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries.

Ito (SHU, IDE) 1 2022 秋学期 42 / 67

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988–2013



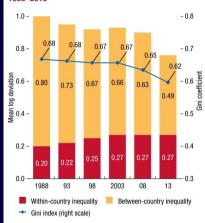
Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of population-weighted inequality within countries; yellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries.

Gini coefficient ジニ係数: 分配の偏りを示す指標

最小値は 0 全員が同じ所得を持つ状態 最大値は 1 1 人がすべての所得を持つ状態

SHIL IDE

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988–2013



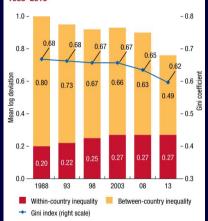
Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of population-weighted inequality within countries; yellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries. Gini coefficient ジニ係数: 分配の偏りを示す指標

最小値は 0 全員が同じ所得を持つ状態 最大値は 1 1 人がすべての所得を持つ状態

International Monetary Fund (2017):

● 全世界の所得分布のジニ係数: 0.68(1988)→0.62(2013)

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988–2013



Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of population-weighted inequality within countries; yellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries. Gini coefficient ジニ係数: 分配の偏りを示す指標

最小値は0 全員が同じ所得を持つ状態

最大値は11人がすべての所得を持つ状態

International Monetary Fund (2017):

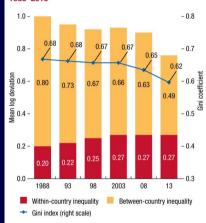
- 全世界の所得分布のジニ係数: 0.68(1988)→0.62(2013)
- 国 c 個人 i の (対数) 所得 y_{ci} と世界平均 (対数) 所得 ȳ との差=国間の差+国内の差

$$y_{ci}-ar{y}=$$
 $ar{y}_{c}-ar{y}$ + $ar{y}_{ci}-ar{y}_{c}$ c 国平均と世界平均の差 個人 i と c 国平均の差

SHIL IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期 42 / 67

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988–2013



Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of population-weighted inequality within countries; yellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries. Gini coefficient ジニ係数: 分配の偏りを示す指標

最小値は 0 全員が同じ所得を持つ状態 最大値は 1 1 人がすべての所得を持つ状態

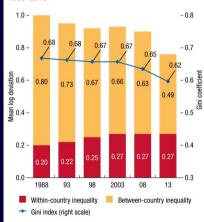
International Monetary Fund (2017):

- 全世界の所得分布のジニ係数: 0.68(1988)→0.62(2013)
- 国 c 個人 i の (対数) 所得 y_{ci} と世界平均 (対数) 所得 ȳ との差=国間の差+国内の差

$$y_{ci}-ar{y}=$$
 $ar{y}_c-ar{y}$ + $y_{ci}-ar{y}_c$ c 国平均と世界平均の差 個人 i と c 国平均の差

● 国間格差: 0.80(1988)→0.49(2013)

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988–2013



Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of population-weighted inequality within countries; yellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries. Gini coefficient ジニ係数: 分配の偏りを示す指標

最小値は0 全員が同じ所得を持つ状態

最大値は11人がすべての所得を持つ状態

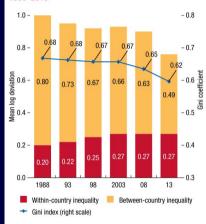
International Monetary Fund (2017):

- 全世界の所得分布のジニ係数: 0.68(1988)→0.62(2013)
- 国 *c* 個人 *i* の (対数) 所得 *y_{ci}* と世界平均 (対数) 所得 *y* との差=国間の差+国内の差

$$y_{ci}-ar{y}=$$
 $ar{y}_{c}-ar{y}$ + $y_{ci}-ar{y}_{c}$ c 国平均と世界平均の差 個人 i と c 国平均の i

- 国間格差: 0.80(1988)→0.49(2013)
- 国内格差: 0.20(1988)→0.27(2013)

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988–2013



Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of population-weighted inequality within countries; yellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries. Gini coefficient ジニ係数: 分配の偏りを示す指標

最小値は0 全員が同じ所得を持つ状態 最大値は11人がすべての所得を持つ状態

International Monetary Fund (2017):

- 全世界の所得分布のジニ係数: 0.68(1988)→0.62(2013)
- 国 c 個人 i の (対数) 所得 y_{ci} と世界平均 (対数) 所得 ȳ との差=国間の差+国内の差

$$y_{ci}-ar{y}=$$
 $ar{y}_{c}-ar{y}$ + $y_{ci}-ar{y}_{c}$ c 国平均と世界平均の差 個人 i と c 国平均の差

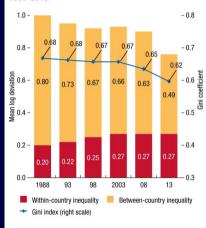
- ▶ 国間格差: 0.80(1988)→0.49(2013)
- 国内格差: 0.20(1988)→0.27(2013)

全体では格差は減ったが、国平均値の格差が減り、各国内の 格差が増えた

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE)

Figure 1.2. Decomposition of Global Income Inequality, 1988-2013



Note: Bar height indicates level of global inequality as measured by mean log deviation. Red bars show corresponding level of population-weighted inequality within countries; vellow bars show level of between-country inequality, which captures differences in average income across countries.

Gini coefficient ジニ係数: 分配の偏りを示す指標

最小値は0 全員が同じ所得を持つ状態

最大値は11人がすべての所得を持つ状態

International Monetary Fund (2017):

- 全世界の所得分布のジニ係数: 0.68(1988)→0.62(2013)
- 国 c 個人 i の (対数) 所得 v_{ci} と世界平均 (対数) 所得 v̄ との差=国間の差+国内の差

$$y_{ci}-ar{y}=$$
 $ar{y}_{c}-ar{y}$ + $y_{ci}-ar{y}_{c}$ ロ平均と世界平均の差 個人 i と c 国平均の発

- 国間格差: 0.80(1988)→0.49(2013)
- 国内格差: 0.20(1988)→0.27(2013)

よび分国屋は現 イン

全体では格差は減ったが、国平均値の格差が減り、各国内の 格差が増えた

低所得国で一部の人々が富裕になって低所得国の平均をは、

Ito (SHU, IDE)

基本的な考え方: 貧困の罠 poverty trap

SHU, IDE 43 / 67

基本的な考え方: 貧困の罠 poverty trap (=複数均衡、複数のうち1つは歴史が決める低位均衡)

● いかなる経済 (コミュニティ) も豊かになり、成長してキャッチアップできる

基本的な考え方: 貧困の罠 poverty trap (=複数均衡、複数のうち1つは歴史が決める 低位均衡)

- いかなる経済(コミュニティ)も豊かになり、成長してキャッチアップできる
- ただし、貧困の罠を脱出したときのみ

43 / 67

基本的な考え方: 貧困の罠 poverty trap (=複数均衡、複数のうち 1 つは歴史が決める低位均衡)

- ▼ いかなる経済 (コミュニティ) も豊かになり、成長してキャッチアップできる
- ただし、貧困の罠を脱出したときのみ

🔊 そうではなく、どの経済も順調に成長するなら政策は不要。放置で OK。

基本的な考え方: 貧困の罠 poverty trap (=複数均衡、複数のうち1つは歴史が決める低位均衡)

- ◉ いかなる経済 (コミュニティ) も豊かになり、成長してキャッチアップできる
- ただし、貧困の罠を脱出したときのみ☞ そうではなく、どの経済も順調に成長するなら政策は不要。放置で OK。
- 貧困の罠の構成要素:

基本的な考え方: 貧困の罠 poverty trap (=複数均衡、複数のうち 1 つは歴史が決める 低位均衡)

- ◉ いかなる経済 (コミュニティ) も豊かになり、成長してキャッチアップできる
- ただし、貧困の罠を脱出したときのみ☞ そうではなく、どの経済も順調に成長するなら政策は不要。放置で OK。
- 貧困の罠の構成要素:
 - 1つ以上の均衡 (通常は3つ)

基本的な考え方: 貧困の罠 poverty trap (=複数均衡、複数のうち1つは歴史が決める低位均衡)

- ◉ いかなる経済 (コミュニティ) も豊かになり、成長してキャッチアップできる
- ただし、貧困の罠を脱出したときのみ☞ そうではなく、どの経済も順調に成長するなら政策は不要。放置で OK。
- 貧困の罠の構成要素:
 - 1つ以上の均衡 (通常は3つ)
 - 低位均衡の動学的安定性 dynamic stability(少しくらい所得が増えても減っても低位均衡に戻る性質、=悪循環 a vicious cycle)

モデルの構成要素

資本 k_t 資本市場で供給 $k_t^S = k_t^D$ 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

44 / 67

モデルの構成要素

資本 k_t 資本市場で供給 $k_t^S = k_t^D$ 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

需要
$$k_{t+1}^D$$

- 11

モデルの構成要素

資本 k_t 資本市場で供給 $k_t^S = k_t^D$ 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.



モデルの構成要素

資本 k_t 資本市場で供給 $k_t^S = k_t^D$ 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.



モデルの構成要素

資本 k_t 資本市場で供給 $k_t^S = k_t^D$ 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.



S 今期資本額 kt が 与えられたとき の来期資本額 k_{t+1} を示す関係 式。生産技術、 富の分布、税 制、マクロ経済 の状態、金融制 度、それらを支 える法律や制度 などが k_{t+1} に影 響を及ぼす。

2022 秋学期

SHILL IDE

モデルの構成要素

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の(物的、人的、社 会共通、その他) 資本.

● 今期資本 kt と生産・所得の関係

SHU, IDE 45 / 67

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

● 今期資本 k_t と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 k_t と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 kt と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、・・・]

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 k_t と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、・・・]
- ・ 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_t + 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間 を通じた変化:

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 k_t と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、・・・]
- ・ 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_t + 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間を通じた変化: [市場と制度; 金融仲介、教育、規制、…]

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 k_t と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、…]
- ・ 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_t + 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間を通じた変化: [市場と制度; 金融仲介、教育、規制、...]
- 人口で割って人口1人あたりの数にする

45 / 67

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 k_t と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、···]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、…]
- ・ 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_t + 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間を通じた変化: [市場と制度; 金融仲介、教育、規制、…]
- ◉ 人口で割って人口1人あたりの数にする [人口成長]

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 k_t と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、…]
- ・ 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_t + 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間を通じた変化: [市場と制度; 金融仲介、教育、規制、...]
- 人口で割って人口1人あたりの数にする [人口成長]
- 資本市場均衡条件 $k_{t+1}^D = k_{t+1}^S$ を課す \Rightarrow 方程式 (or 線)

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE)

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社会共通、その他) 資本.

- 今期資本 kt と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、…]
- ・ 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_t + 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間を通じた変化: [市場と制度; 金融仲介、教育、規制、…]
- 人口で割って人口1人あたりの数にする [人口成長]
- 資本市場均衡条件 $k_{t+1}^D = k_{t+1}^S$ を課す \Rightarrow 方程式 (or 線)

S S字形の直 線で最低2 つの尖端点 があると最 低3つの複 数均衡

SHU. IDE

モデルの構成要素

資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の(物的、人的、社 会共通、その他) 資本.

- 今期資本 kt と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資 本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、…]
- 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_{t+1} 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間 を通じた変化: [市場と制度: 金融仲介、教育、規制、…]
- 人口で割って人口1人あたりの数にする [人口成長]
- 資本市場均衡条件 $k_{++}^D = k_{++}^S$ を課す \Rightarrow 方程式 (or 線)

- S字形の直 線で最低2 つの尖端点 があると最 低3つの複 数均衡
- S 字形は市 場の不完全 性などに よって発生

Ito (SHU, IDE)

2022 秋学期

モデルの構成要素

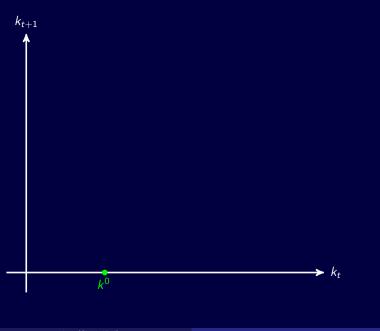
資本 資本市場で供給 = 需要 という状態の (物的、人的、社 会共通、その他) 資本.

- 今期資本 kt と生産・所得の関係 [資本需要; 経営、技術、…]
- 今期生産からどのくらい次期 (t+1 期) 資本に増加されるか [資本増加分の供給; 貯蓄、富の分布、教育、...]
- 次期資本需要 k_{t+1}^D と次期資本供給 k_{t+1}^S (= 今期資本 k_t + 今期 貯蓄 s_t) 間の取引環境、今期資本 k_t から次期資本 k_{t+1} への時間 を通じた変化: [市場と制度; 金融仲介、教育、規制、…]
- 人口で割って人口1人あたりの数にする [人口成長]
- 資本市場均衡条件 $k_{t+1}^D = k_{t+1}^S$ を課す \Rightarrow 方程式 (or 線)

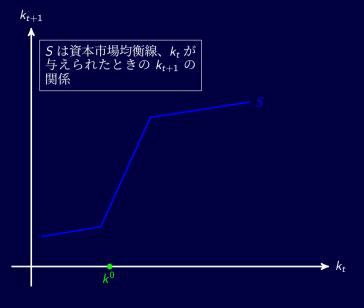
- S S字形の直 線で最低2 つの尖端点 があると最 低3つの複 数均衡
- S字形は市場の不完全性などによって発生
- S字形の曲線でも議論は同じ

CUIL IDE

Next figure is based on Galor and Zeira (1993).

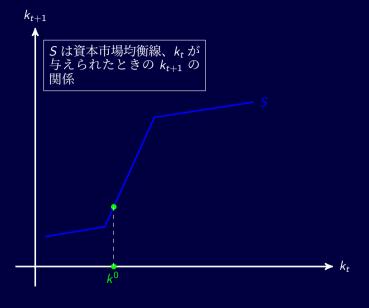


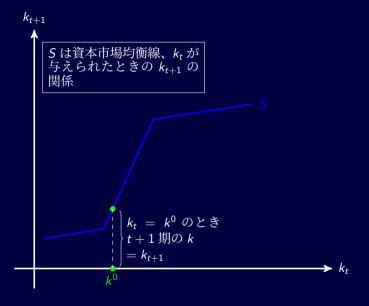
2022 秋学期

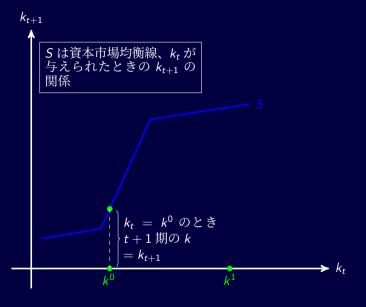


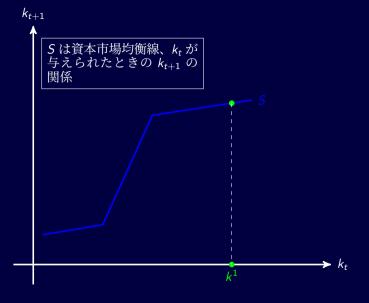
Ito (SHU, IDE)

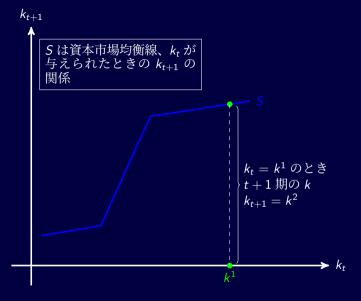
2022 秋学期



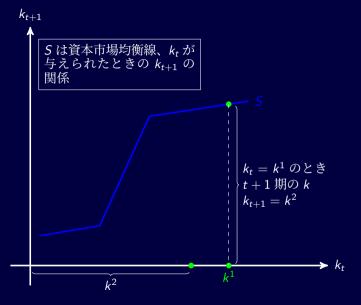


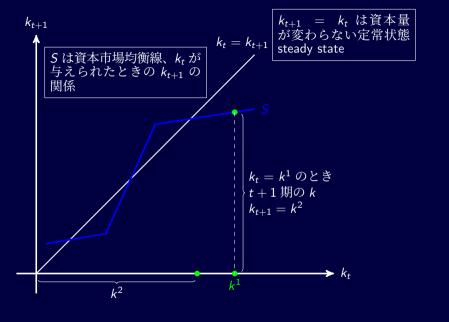


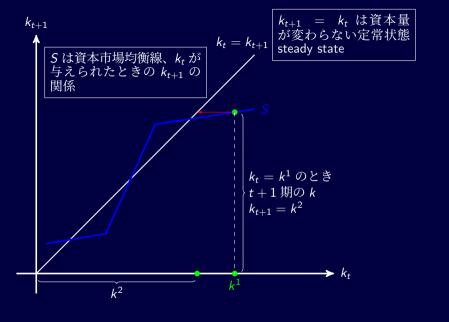


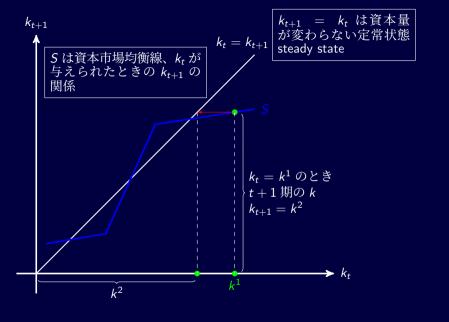


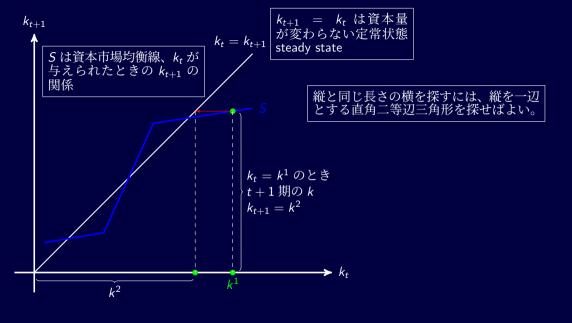
SHU. IDE

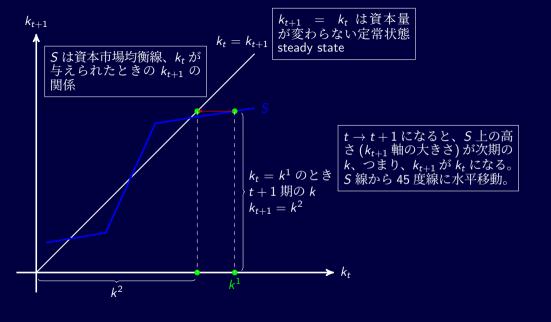


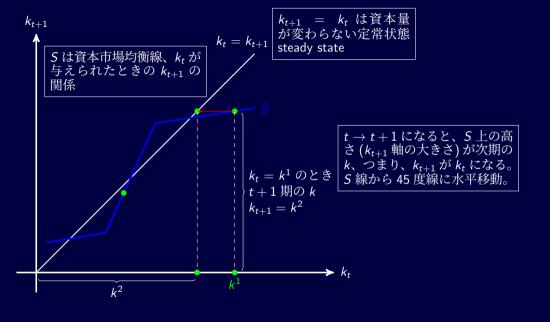


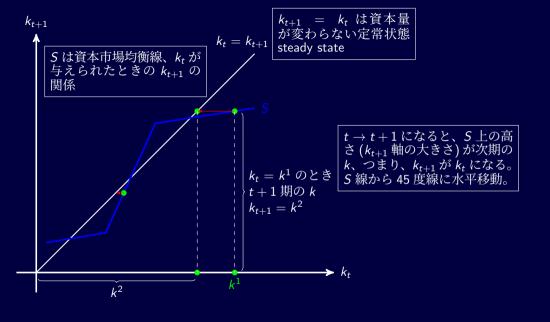


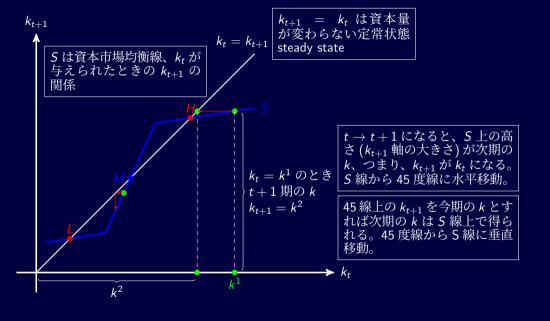


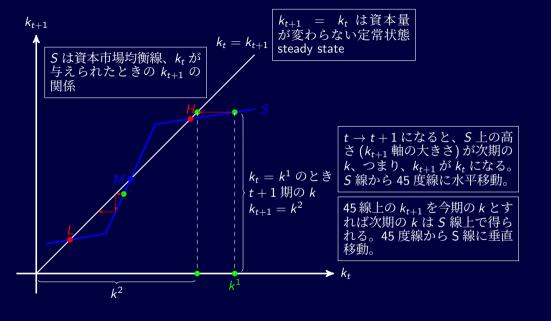


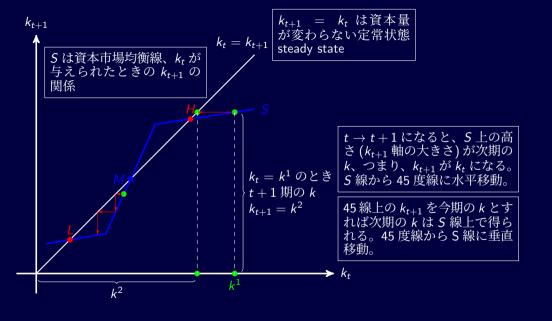


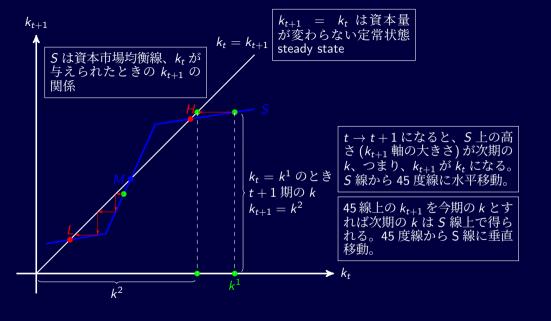


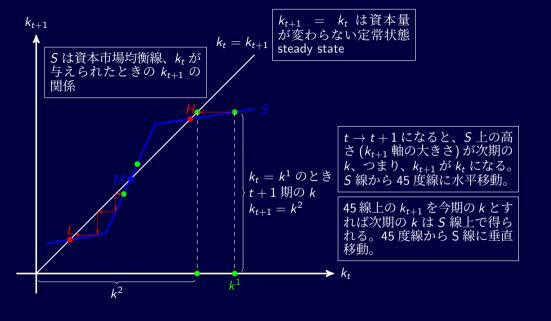


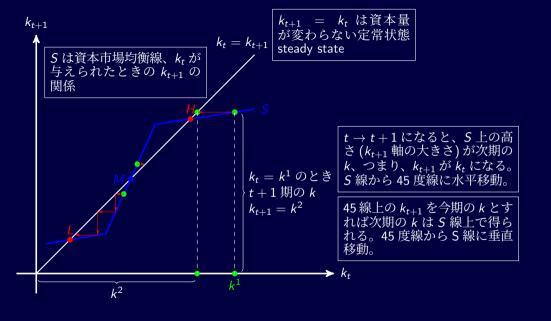


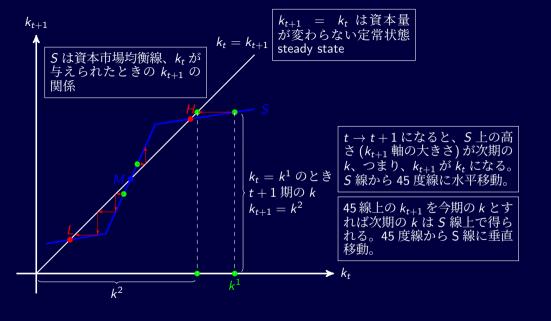


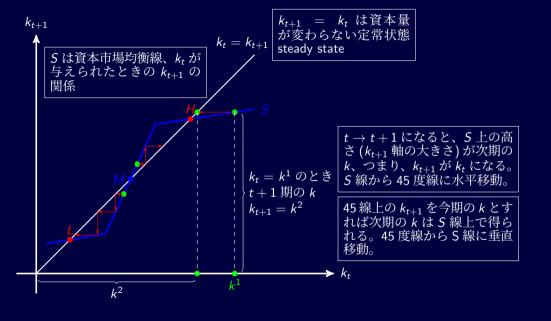


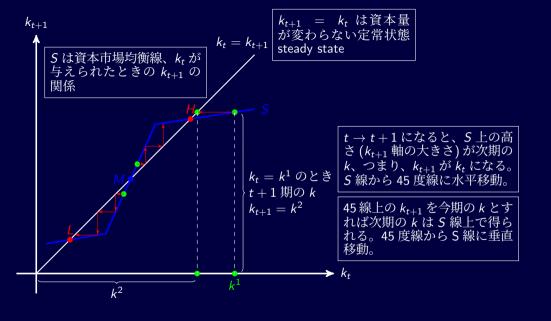


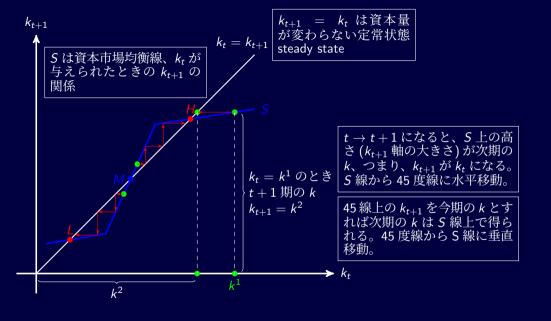








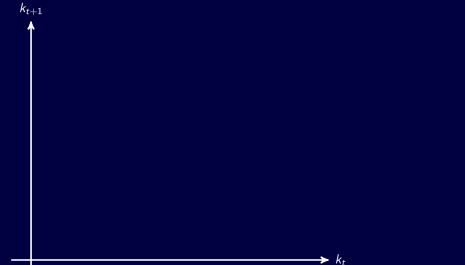




- 時間を通じた変化を考えること 一動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます

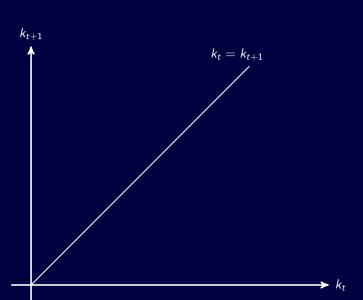






- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点と t+1時点の変化を考えますこのモデルでは
 - キーとなる変数は一人あたり資本 k_t なので、 k_t, k_{t+1} 平面で考えます

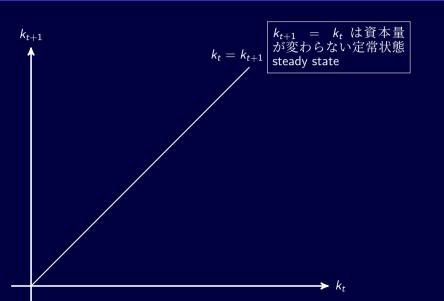




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



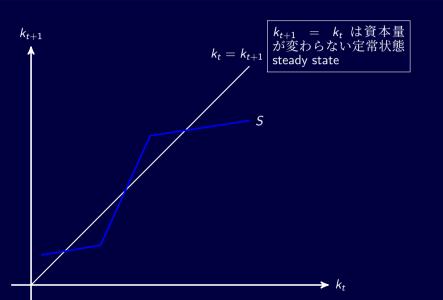




- 時間を通じた変化を考えること 一動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- ・このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



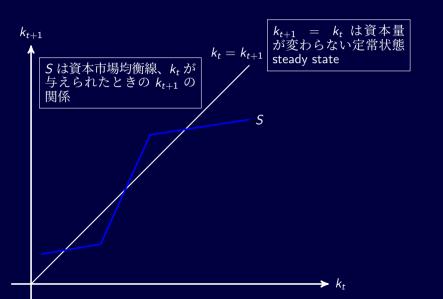




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- ・このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



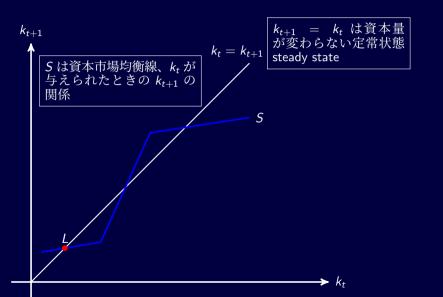




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- ・このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



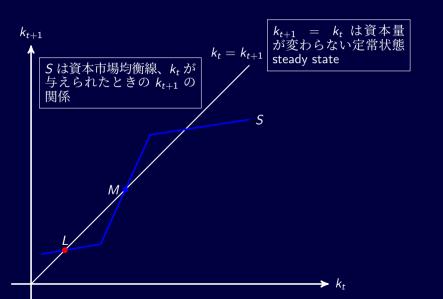




- 時間を通じた変化を考えること 一動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



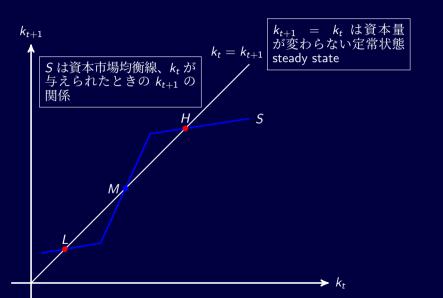




- 時間を通じた変化を考えること 一動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- ・このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



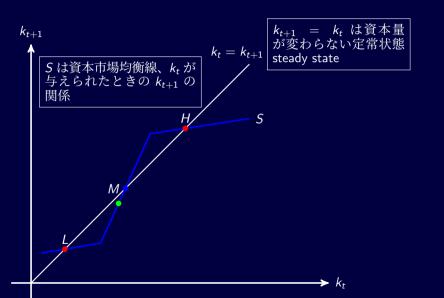




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- ・このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



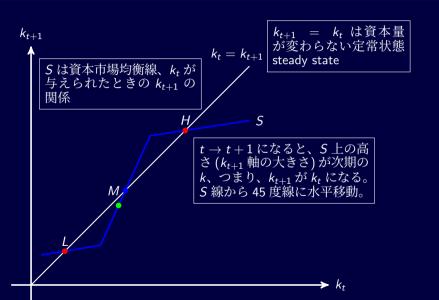




- 時間を通じた変化を考えること 一動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- ・このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



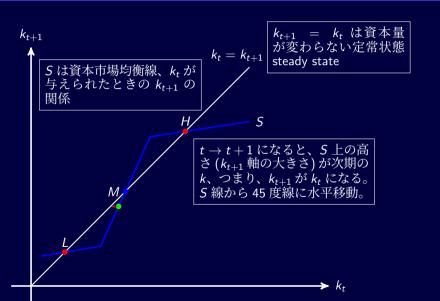




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



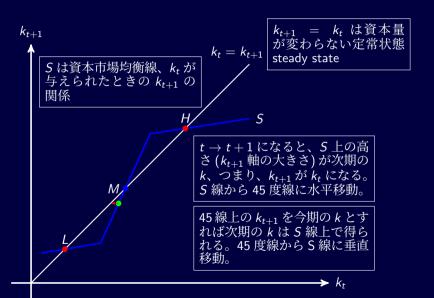




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



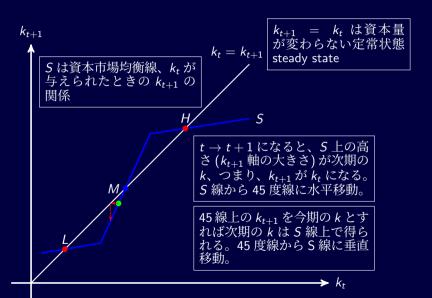




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



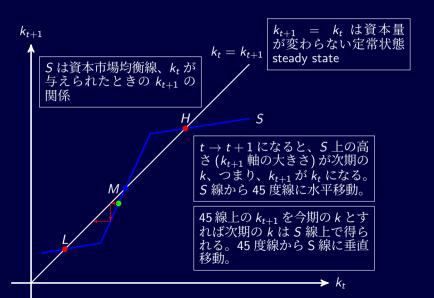




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



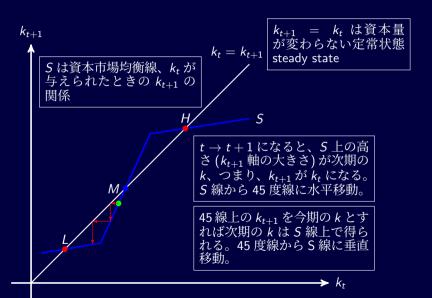




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



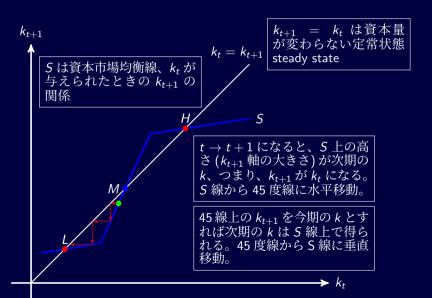




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



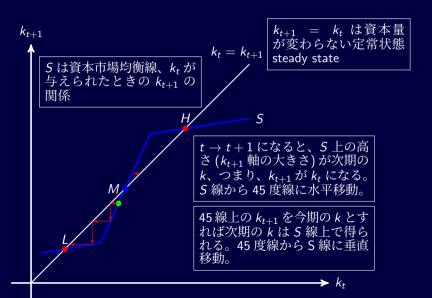




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



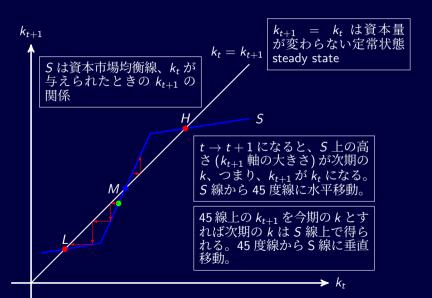




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



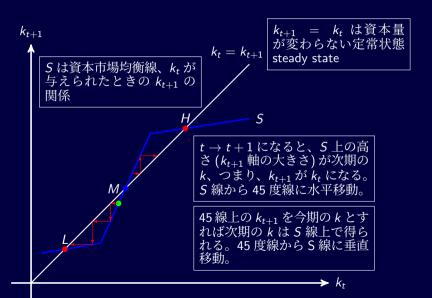




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



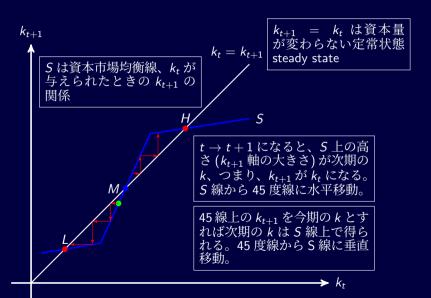




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



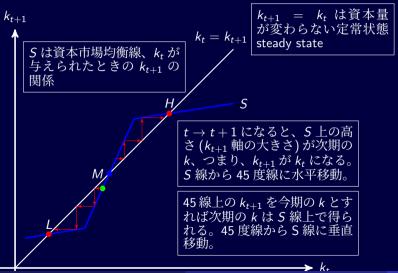




- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます







- 時間を通じた変化を考えること =動学 dynamics といいます
- 動学では t 時点 と t + 1 時点の 変化を考えます
- このモデルでは キーとなる変数 は一人あたり資 本 k_t なので、 k_t , k_{t+1} 平面で考 えます



なぜS字形?

shu, ide 49 / 67

なぜ S 字形?例 (他の論拠もあります)

なぜS字形?例(他の論拠もあります)

発展段階・所得が低いときには生産性の伸びは低い。生産にさまざまな障害 (市場の不完全性) があるため。資本蓄積の度合い (傾き) は緩やか。

なぜS字形?例(他の論拠もあります)

発展段階・所得が低いときには生産性の伸びは低い。生産にさまざまな障害 (市場の不完全性) があるため。資本蓄積の度合い (傾き) は緩やか。

資本市場 借り手と貸し手が出会う機会が乏しい、資金回収リスクがあるので資金を提供しにくい

なぜS字形?例(他の論拠もあります)

発展段階・所得が低いときには生産性の伸びは低い。生産にさまざまな障害 (市場の不完全性) があるため。資本蓄積の度合い (傾き) は緩やか。

資本市場 借り手と貸し手が出会う機会が乏しい、資金回収リスクがあるので資金を提供しにくい

保険市場 灌漑施設と降雨保険がないと、乾燥に強い低収益作物(アワ、ヒエ)

なぜS字形?例(他の論拠もあります)

発展段階・所得が低いときには生産性の伸びは低い。生産にさまざまな障害 (市場の不完全性) があるため。資本蓄積の度合い (傾き) は緩やか。

資本市場 借り手と貸し手が出会う機会が乏しい、資金回収リスクがあるので資金を提供しにくい

保険市場 灌漑施設と降雨保険がないと、乾燥に強い低収益作物(アワ、ヒエ)

貸出市場 子どもの教育投資は家計の豊かさに依存するので、低所得家計は投資しにくい

なぜS字形?例(他の論拠もあります)

発展段階・所得が低いときには生産性の伸びは低い。生産にさまざまな障害 (市場の不完全性) があるため。資本蓄積の度合い (傾き) は緩やか。

資本市場 借り手と貸し手が出会う機会が乏しい、資金回収リスクがあるので資金を提供しにくい

保険市場 灌漑施設と降雨保険がないと、乾燥に強い低収益作物(アワ、ヒエ)

貸出市場 子どもの教育投資は家計の豊かさに依存するので、低所得家計は投資しにくい

市場に関わる制度司法、行政、インフラなどが不十分で投資収益が下がる

なぜ S 字形?例 (他の論拠もあります)

発展段階・所得が低いときには生産性の伸びは低い。生産にさまざまな障害 (市場の不完全性) があるため。資本蓄積の度合い (傾き) は緩やか。

資本市場 借り手と貸し手が出会う機会が乏しい、資金回収リスクがあるので資金を提供しにくい

保険市場 灌漑施設と降雨保険がないと、乾燥に強い低収益作物 (アワ、ヒエ)

貸出市場 子どもの教育投資は家計の豊かさに依存するので、低所得家計は投資しにくい

市場に関わる制度司法、行政、インフラなどが不十分で投資収益が下がる

発展段階・所得が中段階になると生産性の伸びが高まる。市場が整備され、豊かな 国からの技術移転も利用できるため。資本蓄積の度合い(傾き)は急。

49 / 67

なぜS字形?例(他の論拠もあります)

発展段階・所得が低いときには生産性の伸びは低い。生産にさまざまな障害(市場の 不完全性) があるため。資本蓄積の度合い (傾き) は緩やか。 ▶ Figure

> 資本市場 借り手と貸し手が出会う機会が乏しい、資金回収リスクがあるので資金を提 供しにくい

保険市場 灌漑施設と降雨保険がないと、乾燥に強い低収益作物(アワ、ヒエ)

貸出市場 子どもの教育投資は家計の豊かさに依存するので、低所得家計は投資しにくい

市場に関わる制度 司法、行政、インフラなどが不十分で投資収益が下がる

発展段階・所得が中段階になると生産性の伸びが高まる。市場が整備され、豊かな 国からの技術移転も利用できるため。資本蓄積の度合い(傾き)は急。

発展段階・所得が高くなると、生産性の伸びは低くなる。技術移転に頼らず自前で 技術開発しないといけなくなるから。資本蓄積の度合い(傾き)は緩やか。

Ito (SHU, IDE)

49 / 67

資本市場均衡線がS字直線で、極端に高い位置や低い位置にない限り、45度線と3 つ交点を持つ

> SHU, IDE 50 / 67

資本市場均衡線がS字直線で、極端に高い位置や低い位置にない限り、45度線と3つ交点を持つ

■ 厳密には、S字直線の緩やかな傾きが45度未満、急な傾きが45度以上で、Sの下部分が45度線よりも高い位置で始まり、急な傾きになる前に1つ交点を持てば、合計で3つ交点を持つ

資本市場均衡線がS字直線で、極端に高い位置や低い位置にない限り、45度線と3つ交点を持つ

職密には、S字直線の緩やかな傾きが45度未満、急な傾きが45度以上で、Sの下部分が45度線よりも高い位置で始まり、急な傾きになる前に1つ交点を持てば、合計で3つ交点を持つ

経済が動学的に安定な低位均衡にいると、高位均衡には自然に移らない。

● *H*に行くためには以下が必要:

50 / 67

資本市場均衡線がS字直線で、極端に高い位置や低い位置にない限り、45度線と3つ交点を持つ

職密には、S字直線の緩やかな傾きが45度未満、急な傾きが45度以上で、Sの下部分が45度線よりも高い位置で始まり、急な傾きになる前に1つ交点を持てば、合計で3つ交点を持つ

経済が動学的に安定な低位均衡にいると、高位均衡には自然に移らない。

- Hに行くためには以下が必要:
 - S線を引き上げて高位均衡への収束経路に乗せる制度変化。



<u>資本市場均衡線がS字</u>直線で、極端に高い位置や低い位置にない限り、45度線と3 つ交点を持つ

■ 厳密には、S字直線の緩やかな傾きが45度未満、急な傾きが45度以上で、Sの 下部分が45度線よりも高い位置で始まり、急な傾きになる前に1つ交点を持て ば、合計で3つ交点を持つ

経済が動学的に安定な低位均衡にいると、高位均衡には自然に移らない。

- Hに行くためには以下が必要:
 - S線を引き上げて高位均衡への収束経路に乗せる制度変化。

→ Figure

経済を一気に右側に移して高位均衡への収束経路に乗せるビッグ・プッシュ。 大 量の資本 k を投下 ("マーシャル・プラン").

50 / 67

資本市場均衡線がS字直線で、極端に高い位置や低い位置にない限り、45度線と3つ交点を持つ

職密には、S字直線の緩やかな傾きが45度未満、急な傾きが45度以上で、Sの下部分が45度線よりも高い位置で始まり、急な傾きになる前に1つ交点を持てば、合計で3つ交点を持つ

経済が動学的に安定な低位均衡にいると、高位均衡には自然に移らない。

- Hに行くためには以下が必要:
 - S線を引き上げて高位均衡への収束経路に乗せる制度変化。
- どの制度を変化させるか? どの資本を増やすか? どうやって?

SHIL IDE

→ Figure

Ito (SHU, IDE)

J-PAL to the rescue!

Abdul Ratif Jameel Poverty Action Lab at MIT.

J-PAL to the rescue!

- Abdul Ratif Jameel Poverty Action Lab at MIT.
- Homepage: "729 ongoing and completed randomized evaluations in 67 countries".

J-PAL to the rescue!

- Abdul Ratif Jameel Poverty Action Lab at MIT.
- Homepage: "729 ongoing and completed randomized evaluations in 67 countries".
- "1094 randomized evaluations...in 91 countries," "from clean water to microfinance to crime prevention."

J-PAL to the rescue!

- Abdul Ratif Jameel Poverty Action Lab at MIT.
- Homepage: "729 ongoing and completed randomized evaluations in 67 countries".
- "1094 randomized evaluations...in 91 countries," "from clean water to microfinance to crime prevention."
- 大変な数

J-PAL to the rescue!

- Abdul Ratif Jameel Poverty Action Lab at MIT.
- Homepage: "729 ongoing and completed randomized evaluations in 67 countries".
- "1094 randomized evaluations...in 91 countries," "from clean water to microfinance to crime prevention."
- 大変な数
- ランダム化比較試験 RCT は政策の効果を歪み無く示すことができる

J-PAL to the rescue!

- Abdul Ratif Jameel Poverty Action Lab at MIT.
- Homepage: "729 ongoing and completed randomized evaluations in 67 countries".
- "1094 randomized evaluations...in 91 countries," "from clean water to microfinance to crime prevention."
- 大変な数
- ランダム化比較試験 RCT は政策の効果を歪み無く示すことができる
 - なぜ歪まないか? 理由はコースの後半で学びます。

How to learn

J-PAL to the rescue!

- Abdul Ratif Jameel Poverty Action Lab at MIT.
- Homepage: "729 ongoing and completed randomized evaluations in 67 countries".
- "1094 randomized evaluations...in 91 countries," "from clean water to microfinance to crime prevention."
- 大変な数
- ランダム化比較試験 RCT は政策の効果を歪み無く示すことができる
 - 🔹 なぜ歪まないか? 理由はコースの後半で学びます。
- RCT はパイロット研究 pilot study です。パイロット研究はロジスティクスや費用対効果などを示すことができます。

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

• When access to education is extremely limited, getting children into school can lead to large learning gains (Afghanistan).

- When access to education is extremely limited, getting children into school can lead to large learning gains (Afghanistan).
- Motivating students to go to school and learn can be very cost-effective, by scholarship (Kenya), by conditional cash transfer (Malawi).

- When access to education is extremely limited, getting children into school can lead to large learning gains (Afghanistan).
- Motivating students to go to school and learn can be very cost-effective, by scholarship (Kenya), by conditional cash transfer (Malawi).
- There is little evidence that simply increasing the number of teachers or teaching resources improves learning (India, Kenya, Kenya, Kenya).

- When access to education is extremely limited, getting children into school can lead to large learning gains (Afghanistan).
- Motivating students to go to school and learn can be very cost-effective, by scholarship (Kenya), by conditional cash transfer (Malawi).
- There is little evidence that simply increasing the number of teachers or teaching resources improves learning (India, Kenya, Kenya, Kenya).
- Teaching children according to their actual learning levels is the most consistently effective at improving learning, and is also very cost-effective (Kenya, Kenya, India, India).

Examples: Learning (continued).

- Incentives for teachers can lead to significant learning gains if they are objectively administered and structured in such a way as to discourage "teaching to the test" (India, Kenya, India).
- Adding an extra teacher on a short-term contract can produce significant learning gains at a relatively low cost (Kenya).
- Grants provided to communities as part of empowerment programs can lead to better learning (Gambia, Indonesia).

ここで変なことは何でしょう? OK, what is wrong with this picture?

Ito (SHU, IDE)

2022 秋学期

ここで変なことは何でしょう? OK, what is wrong with this picture?

- 途上国はインドとケニアだけではありません
- (Not shown) J-PAL は一緒に仕事する組織が当然限られます。India = Maharashtra, Telangana, Rajasthan; Kenya = 西部の州.
- "India" ≠ India, "India" = 少数の州. "Kenya"も同じ

- ここで変なことは何でしょう? OK, what is wrong with this picture?
 - 途上国はインドとケニアだけではありません
 - (Not shown) J-PAL は一緒に仕事する組織が当然限られます。India = Maharashtra, Telangana, Rajasthan; Kenya = 西部の州.
 - "India" ≠ India, "India" = 少数の州. "Kenya"も同じ
 - 政策効果の因果推計 causal inference (教訓 the lesson learned) が他の地域に当てはまらないとき、推計は外的妥当性 external validity を欠く、といいます。リストした研究内容は外的妥当性が限られています。
 - 職 推計が因果関係を捉えている (識別する identify) とき、推計には内的妥当性 internal validity がある、といいます。

- ここで変なことは何でしょう? OK, what is wrong with this picture?
 - 途上国はインドとケニアだけではありません
 - (Not shown) J-PAL は一緒に仕事する組織が当然限られます。India = Maharashtra, Telangana, Rajasthan; Kenya = 西部の州.
 - "India" ≠ India, "India" = 少数の州. "Kenya"も同じ
 - 政策効果の因果推計 causal inference (教訓 the lesson learned) が他の地域に当てはまらないとき、推計は外的妥当性 external validity を欠く、といいます。リストした研究内容は外的妥当性が限られています。
- 職 推計が因果関係を捉えている (識別する identify) とき、推計には内的妥当性 internal validity がある、といいます。
 - これは厳しすぎる批判かも。J-PAL は重要な知見のある研究をたくさん実施。
 - しかし、リスト内容からは、小規模 RCT を使った方法に限界があることが分かります。
 - 彼らはノーベル平和賞とノーベル経済学賞を受賞すべきです。

54 / 67

- ここで変なことは何でしょう? OK, what is wrong with this picture?
 - 徐上国はインドとケニアだけではありません
 - (Not shown) J-PAL は一緒に仕事する組織が当然限られます。India = Maharashtra, Telangana, Rajasthan; Kenya = 西部の州.
 - "India" ≠ India, "India" = 少数の州. "Kenya"も同じ
 - 喀 政策効果の因果推計 causal inference (教訓 the lesson learned) が他の地域に当て はまらないとき、推計は外的妥当性 external validity を欠く、といいます。リス トした研究内容は外的妥当性が限られています。
- № 推計が因果関係を捉えている (識別する identify) とき、推計には内的妥当性 internal validityがある、といいます。
 - これは厳しすぎる批判かも。J-PAL は重要な知見のある研究をたくさん実施。
 - 🌘 しかし、リスト内容からは、小規模 RCT を使った方法に限界があることが分か ります。
 - 2019年に J-PAL の Baneriee, Duflo, Kremer がノーベル経済学賞を受賞。

54 / 67

2022 秋学期 55 / 67

☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

Ravallion (2012); Rosenzweig (2012) は批判:

• 小規模なエビデンスを積み上げるとビッグ・プッシュになるのか?

☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

Ravallion (2012); Rosenzweig (2012) は批判:

・ 小規模なエビデンスを積み上げるとビッグ・プッシュになるのか?■◎ 的を射ている。他の研究方法と組み合わせれば良いのでは?

☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

Ravallion (2012); Rosenzweig (2012) は批判:

• 小規模なエビデンスを積み上げるとビッグ・プッシュになるのか?

☞ 的を射ている。他の研究方法と組み合わせれば良いのでは?

「おおります」では、
「おいまます」では、
では、
では、
が、

☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

Ravallion (2012); Rosenzweig (2012) は批判:

• 小規模なエビデンスを積み上げるとビッグ・プッシュになるのか?

☞ 的を射ている。他の研究方法と組み合わせれば良いのでは?

Heckman and Smith (1995); Heckman (2010) は RCT の利用と誘導型推計を疑問視:

• 全ての政策を実験・ランダム化できるのか? できない。

☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

Ravallion (2012); Rosenzweig (2012) は批判:

• 小規模なエビデンスを積み上げるとビッグ・プッシュになるのか?

☞ 的を射ている。他の研究方法と組み合わせれば良いのでは?

Heckman and Smith (1995); Heckman (2010) は RCT の利用と誘導型推計を疑問視:

- 全ての政策を実験・ランダム化できるのか? できない。
- ランダム化=政策実施か? 二重盲検 (double blind) RCT でないと、ランダム化バイアス randomisation bias は必ずある。

☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

Ravallion (2012); Rosenzweig (2012) は批判:

• 小規模なエビデンスを積み上げるとビッグ・プッシュになるのか?

☞ 的を射ている。他の研究方法と組み合わせれば良いのでは?

Heckman and Smith (1995); Heckman (2010) は RCT の利用と誘導型推計を疑問視:

- 全ての政策を実験・ランダム化できるのか? できない。
- ランダム化=政策実施か? 二重盲検 (double blind) RCT でないと、ランダム化バイアス randomisation bias は必ずある。
- なぜ効果があった・無かったのか? メカニズムを示す理論はあるのか?

- 彼らの研究の集大成: Poor Economics written by Banerjee and Duflo (2011).
- ☞ 素晴らしい本。読みやすい。開発経済学に興味のある誰もが読むべき。

Ravallion (2012); Rosenzweig (2012) は批判:

- 小規模なエビデンスを積み上げるとビッグ・プッシュになるのか?
 - ☞ 的を射ている。他の研究方法と組み合わせれば良いのでは?
 - □ 行政データなどの大規模データを使った観察研究でも知見はある。

Heckman and Smith (1995); Heckman (2010) は RCT の利用と誘導型推計を疑問視:

- 全ての政策を実験・ランダム化できるのか?できない。
- ランダム化=政策実施か? 二重盲検 (double blind) RCT でないと、ランダム化バ イアス randomisation bias は必ずある。
- なぜ効果があった・無かったのか? メカニズムを示す理論はあるのか?
 - ☞ ただし、誘導型推計でも理論を検定することは可能

55 / 67

彼らによれば (Banerjee and Duflo, 2011)、彼らの研究の前は貧困には2つのアプローチがありました。

彼らによれば (Banerjee and Duflo, 2011)、彼らの研究の前は貧困には2つのアプローチがありました。

Save them. 助けが必要 ... a Big Push (Sachs et al., 2006)。 Milleneum Village Project.

彼らによれば (Banerjee and Duflo, 2011)、彼らの研究の前は貧困には 2 つのアプローチがありました。

Save them. 助けが必要 ... a Big Push (Sachs et al., 2006)。Milleneum Village Project. Can't save them. 放っておこう。自分たちで豊かにならないといけない (Easterly, 2006)。

彼らによれば (Banerjee and Duflo, 2011)、彼らの研究の前は貧困には 2 つのアプローチがありました。

Save them. 助けが必要 ... a Big Push (Sachs et al., 2006)。Milleneum Village Project. Can't save them. 放っておこう。自分たちで豊かにならないといけない (Easterly, 2006)。

彼らによれば (Banerjee and Duflo, 2011)、彼らの研究の前は貧困には 2 つのアプローチがありました。

Save them. 助けが必要 ... a Big Push (Sachs et al., 2006)。 Milleneum Village Project.

Can't save them. 放っておこう。自分たちで豊かにならないといけない (Easterly, 2006)。

Banerjee and Duflo (2011) は中間を示したと主張します。*Poor Economics* 以前の時代を単純化しすぎていないか、ちょっと疑問が残ります。

The project is led by Professor Jeffrey Sachs of the Earth Institute, Columbia University. The five year project was launched in 2006 and targets 80 Millennium Villages across ten African countries. It provides low-cost interventions in agriculture and nutrition, health, water and sanitation, education, infrastructure and the environment to the villages at a cost of \$120 per person per year.

The project is led by Professor Jeffrey Sachs of the Earth Institute, Columbia University. The five year project was launched in 2006 and targets 80 Millennium Villages across ten African countries. It provides low-cost interventions in agriculture and nutrition, health, water and sanitation, education, infrastructure and the environment to the villages at a cost of \$120 per person per year.

(In summary) The MVP has achieved results and has demonstrated the impact of greater investment in evidence-based, low-cost interventions at village level on progress towards the MDGs.

The project is led by Professor Jeffrey Sachs of the Earth Institute, Columbia University. The five year project was launched in 2006 and targets 80 Millennium Villages across ten African countries. It provides low-cost interventions in agriculture and nutrition, health, water and sanitation, education, infrastructure and the environment to the villages at a cost of \$120 per person per year.

(In summary) The MVP has achieved results and has demonstrated the impact of greater investment in evidence-based, low-cost interventions at village level on progress towards the MDGs.

レビューはポジティブな内容です。その回答 Sachs et al. (2008) は感謝していました。

• サックスは MV Project "is flourishing" といいます。

- サックスは MV Project "is flourishing" といいます。
- Bill Gates はサックスを賞賛しているものの ("Sachs is the Bono of economics")、
 MVP の成果に批判的です。

 Bono1, Bono2

- サックスは MV Project "is flourishing" といいます。
- Bill Gates はサックスを賞賛しているものの ("Sachs is the Bono of economics")、MVP の成果に批判的です。Bono1, Bono2
- しかし…成果についてなぜ意見が割れるのでしょうか。だって、成果に関する データをチェックすれば1は1、2は2なので意見を異にする点はないのでは?

- サックスは MV Project "is flourishing" といいます。
- Bill Gates はサックスを賞賛しているものの ("Sachs is the Bono of economics")、MVP の成果に批判的です。Bono1, Bono2
- しかし…成果についてなぜ意見が割れるのでしょうか。だって、成果に関する データをチェックすれば1は1、2は2なので意見を異にする点はないのでは?
- 答え: MV Project の評価デザインに本質的な欠点がある (see The Economist article) ので、見方が割れます。

- サックスは MV Project "is flourishing" といいます。
- Bill Gates はサックスを賞賛しているものの ("Sachs is the Bono of economics")、
 MVP の成果に批判的です。

 Bono1, Bono2
- しかし…成果についてなぜ意見が割れるのでしょうか。だって、成果に関する データをチェックすれば1は1、2は2なので意見を異にする点はないのでは?
- 答え: MV Project の評価デザインに本質的な欠点がある (see The Economist article) ので、見方が割れます。

- サックスは MV Project "is flourishing" といいます。
- Bill Gates はサックスを賞賛しているものの ("Sachs is the Bono of economics")、MVP の成果に批判的です。Bono1, Bono2
- しかし…成果についてなぜ意見が割れるのでしょうか。だって、成果に関する データをチェックすれば1は1、2は2なので意見を異にする点はないのでは?
- 答え: MV Project の評価デザインに本質的な欠点がある (see The Economist article) ので、見方が割れます。
 - 喀 サックスは天才なので、彼がなぜこんなデザインにしたのか不思議です。
 - もしかすると、自由にデザインを選べなかったのかも ... コースの後半で 扱います。

- サックスは MV Project "is flourishing" といいます。
- Bill Gates はサックスを賞賛しているものの ("Sachs is the Bono of economics")、
 MVP の成果に批判的です。

 Bono1, Bono2
- しかし…成果についてなぜ意見が割れるのでしょうか。だって、成果に関する データをチェックすれば1は1、2は2なので意見を異にする点はないのでは?
- 答え: MV Project の評価デザインに本質的な欠点がある (see The Economist article) ので、見方が割れます。
 - ゅっクスは天才なので、彼がなぜこんなデザインにしたのか不思議です。
 - もしかすると、自由にデザインを選べなかったのかも ... コースの後半で 扱います。
- この講義では、欠点が何か、修正する方法を学びます。

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

Poverty trap A vicious cycle that keeps the economy in poverty.

SHU, IDE

Poverty trap A vicious cycle that keeps the economy in poverty.

Big Push A set of policies that moves the economy to a convergent path to "high" equilibria.

SHU, IDE

Poverty trap A vicious cycle that keeps the economy in poverty.

Big Push A set of policies that moves the economy to a convergent path to "high" equilibria.

Milleneum Development Villages An attempt to mimic a Big Push that intervenes the African villages in every aspect of life.

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

Poverty trap A vicious cycle that keeps the economy in poverty.

Big Push A set of policies that moves the economy to a convergent path to "high" equilibria.

Milleneum Development Villages An attempt to mimic a Big Push that intervenes the African villages in every aspect of life.

J-PAL A research centre focusing on randomised controlled trials (RCTs) to produce practical policy lessons.

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期 59/67

Poverty trap A vicious cycle that keeps the economy in poverty.

Big Push A set of policies that moves the economy to a convergent path to "high" equilibria.

Milleneum Development Villages An attempt to mimic a Big Push that intervenes the African villages in every aspect of life.

J-PAL A research centre focusing on randomised controlled trials (RCTs) to produce practical policy lessons.

internal validity An unbiased causal inference.

Ito(SHU, IDE) 2022 秋学期 59 / 67

Poverty trap A vicious cycle that keeps the economy in poverty.

Big Push A set of policies that moves the economy to a convergent path to "high" equilibria.

Milleneum Development Villages An attempt to mimic a Big Push that intervenes the African villages in every aspect of life.

J-PAL A research centre focusing on randomised controlled trials (RCTs) to produce practical policy lessons.

internal validity An unbiased causal inference.

external validity An unbiased causal inference with applicability beyond studied subjects.

Ito (SHU, IDE) 1 2022 秋学期 59 / 67

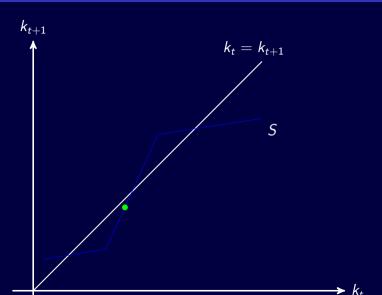
References I

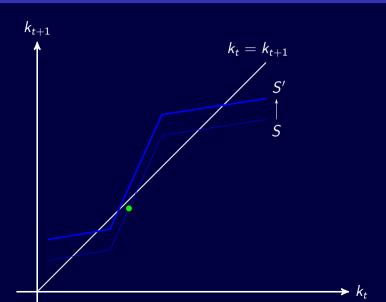
- Acemoglu, Daron and Carlos A. Molina, "Converging to converge? A comment," Technical Report, National Bureau of Economic Research 2021.
- Balboni, Clare, Oriana Bandiera, Robin Burgess, Maitreesh Ghatak, and Anton Heil, "Why do people stay poor?," 2020.
- Banerjee, A. and E. Duflo, Poor Economics: A Radical Rethinking of the Way to Fight Global Poverty, PublicAffairs, 2011.
- **Doleac, Jennifer L. and Benjamin Hansen**, "The Unintended Consequences of "Ban the Box": Statistical Discrimination and Employment Outcomes When Criminal Histories Are Hidden," *Journal of Labor Economics*, 2020, 38 (2), 321–374.
- Easterly, William, The white man's burden: why the West's efforts to aid the rest have done so much ill and so little good, Penguin, 2006.
- Galor, Oded and Joseph Zeira, "Income Distribution and Macroeconomics," The Review of Economic Studies, 1993, 60 (1), 35–52.
- Heckman, James J., "Building Bridges between Structural and Program Evaluation Approaches to Evaluating Policy," Journal of Economic Literature, 2010, 48 (2), 356–98.
- and Jeffrey A. Smith, "Assessing the case for social experiments," The Journal of Economic Perspectives, 1995, 9 (2), 85–110.
- International Monetary Fund, Fiscal monitor, International Monetary Fund, September 2017.
- Jones, Charles I., "The end of economic growth? Unintended consequences of a declining population," *The American Economic Review*, forthcoming.

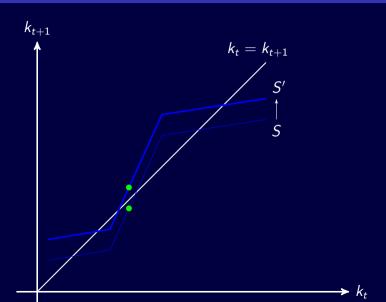
Ito (SHU, IDE) 2022 秋学期

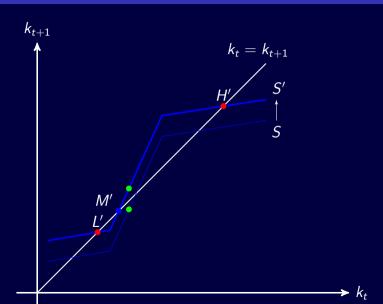
References II

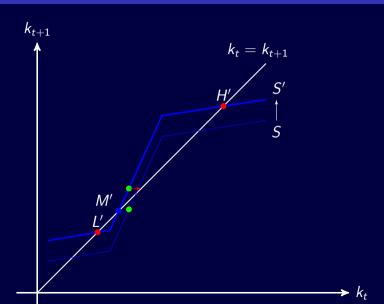
- Kanbur, Ravi, Eduardo Ortiz-Juarez, and Andy Sumner, "The global inequality boomerang," 2022.
- Kremer, Michael, "Population growth and technological change: One million BC to 1990," *The Quarterly Journal of Economics*, 1993, 108 (3), 681–716.
- ______, Jack Willis, and Yang You, "Converging to convergence," *NBER Macroeconomics Annual*, 2022, *36* (1), 337–412.
- Leamer, Edward E, "Let's take the con out of econometrics," The American Economic Review, 1983, pp. 31-43.
- Pande, Rohini and Nils T. Enevoldsen, "Growing pains? a comment on "Converging to Convergence"," 2021.
- Ravallion, Martin, "Fighting Poverty One Experiment at a Time: A Review of Abhijit Banerjee and Esther Duflo's Poor Economics: A Radical Rethinking of the Way to Fight Global Poverty," *Journal of Economic Literature*, 2012, 50 (1), 103–114.
- Rosenzweig, Mark R., "Thinking Small: A Review of Poor Economics: A Radical Rethinking of the Way to Fight Global Poverty by Abhijit Banerjee and Esther Duflo," *Journal of Economic Literature*, 2012, 50 (1), 115–127.
- Sachs, Jeffrey, Paul A Haslam, Jessica Schafter, and Pierre Beaudet, The End of Poverty: Economic Possibilities for Our Time, Penguin (Non-Classics), 2006.

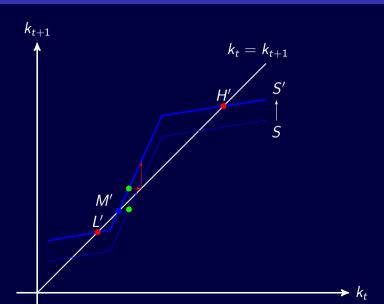


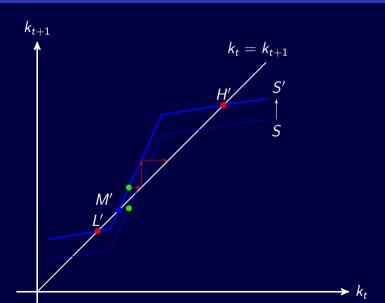


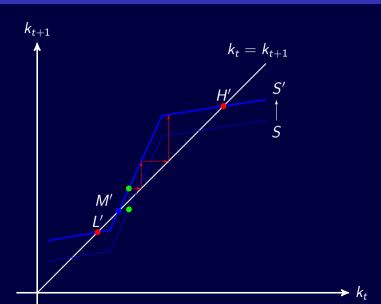


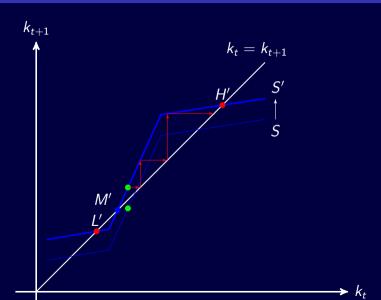


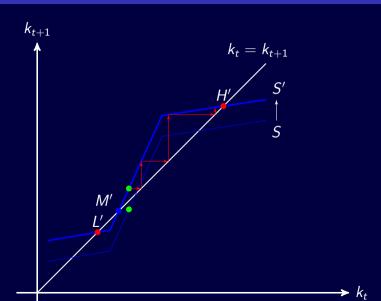


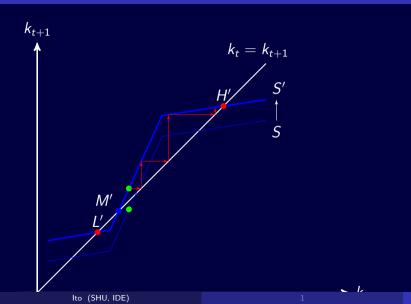








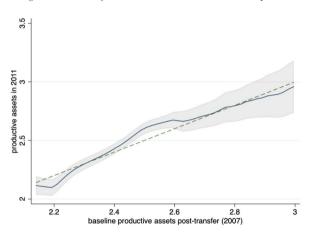




SHU, IDE

2022 秋学期

Figure 4: Local Polynomial Estimate of the Transition Equation



Notes: The sample is restricted to ultra-poor households in treatment villages with log baseline productive assets below 3. Productive assets are measured as the natural logarithm of the total value, in 1000 Bangladeshi Taka, of all livestock, poultry, business assets, and land owned by the households. Post-transfer assets are imputed by adding to each household's baseline assets the median value of a cow within the catchment area of a household's BRAC branch. The blue line plots the smoothed values of a local polynomial regression an Enangehnikov kernel of entimal handwidth. The grey area denicts 95 percent confidence hands. The

- 点線が 45 度線、曲線が家計調 **査で情報収集した家計資産を** 2007年 (= kt) と 2011年 $(=k_{t+1})$ で描いたものです (Balboni et al., 2020, Figure 4)。緩やかな S 字曲線が分か ります。貧困の罠をデータで 実証した研究は、おそらくこ れが初めてです。
- 伊藤も共著者たちと一緒にバ ングラデシュ北部で似た研究 をして、最貧困層へのビッグ プッシュ的介入 (マイクロファ イナンスの多額貸付) が家計資 産蓄積を加速させることを発 見しました。

SHIL IDE

Peter Singer, an ethicist, a philospher.

Child in the pond question:

You are walking in an isolated park, passing by a pond, where you see a child drowning. There is no one around, and you do not have a phone to call for a help. You are good at swimming and can save the child by jumping into the water. But you have expensive shoes on. Jumping into the water will ruin them, a loss of USD 200. If you do not help the child, the child will die.

Would you jump into the pond to save the child?



Almost everybody (probably everybody in developed countries) will say, yes.

Singer challenges: Then, why would you not give USD 200 to help a child on the other side of globe?

Singer argues that we, citizens of a rich nation, are morally obligated to give a fraction of income to the citizens of poor nations.

We want to be empathetic, but we are so incapable of being so, of thinking about the poverty in poor countries. We may have to force ourselves to think about it.

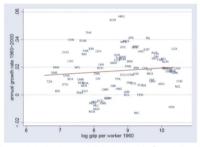


Stylized fact in the 1990s: no convergence



convergence=収 斂、キャッチ アップ

経済成長理論の 入門教科書の図



Source: Introduction to Modern Economic Growth (2009)

"The hypothesis that poor countries tend to grow faster than rich countries seems to be inconsistent with the cross-country evidence" (Barro 1991)

Divergence, Big Time (Pritchett 1997)

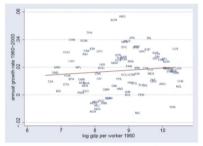
One response: endogenous growth models predicting divergence (Romer 1986)

Another response: conditional convergence, controlling for human capital, policies, institutions (Barro and Sala-i-Martin 1992)



Stylized fact in the 1990s: no convergence





Source: Introduction to Modern Economic Growth (2009)

"The hypothesis that poor countries tend to grow faster than rich countries seems to be inconsistent with the cross-country evidence" (Barro 1991)

Divergence, Big Time (Pritchett 1997)

One response: endogenous growth models predicting divergence (Romer 1986)

Another response: conditional convergence, controlling for human capital, policies, institutions (Barro and Sala-i-Martin 1992)

経済成長理論の 入門教科書の図

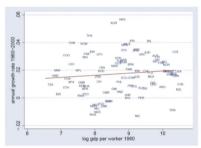
convergence=収 斂、キャッチ アップ

キャッチアップ するには所得の 低い国ほど成長 率が高い必要 あり



経済成長理論の 入門教科書の図

Stylized fact in the 1990s: no convergence



Source: Introduction to Modern Economic Growth (2009)

"The hypothesis that poor countries tend to grow faster than rich countries seems to be inconsistent with the cross-country evidence" (Barro 1991)

Divergence, Big Time (Pritchett 1997)

One response: endogenous growth models predicting divergence (Romer 1986)

Another response: conditional convergence, controlling for human capital, policies, institutions (Barro and Sala-i-Martin 1992)

convergence=収 斂、キャッチ アップ

キャッチアップ するには所得の 低い国ほど成長 率が高い必要 あり

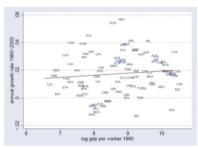
横軸 1960年の1人当たり対数所得、縦軸 1960-2000年成長率とすると、右下がりの 関係が必要

SHU, IDE



経済成長理論の入門教科書の図

Stylized fact in the 1990s: no convergence



Source: Introduction to Modern Economic Growth (2009)

"The hypothesis that poor countries tend to grow faster than rich countries seems to be inconsistent with the cross-country evidence" (Baxro 1991)

Divergence, Big Time (Pritchett 1997)

One response: endogenous growth models predicting divergence (Romer 1986)

Another response: conditional convergence, controlling for human capital, policies, institutions (Barro and Sala-i-Martin 1992)

convergence=収 斂、キャッチ アップ

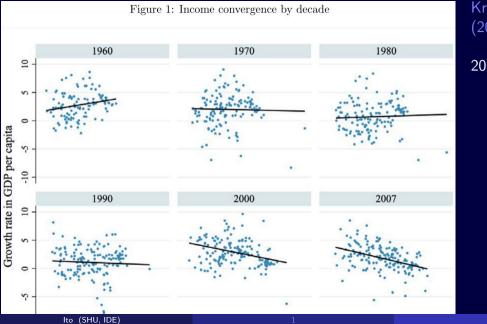
キャッチアップ するには所得の 低い国ほど成長 率が高い必要 あり

横軸 1960年の1人当たり対数所得、縦軸 1960-2000年成長率とすると、右下がりの 関係が必要

僅かに右上がり=キャッチアップなし

SHU, IDE

Ito (SHU, IDE)



Kremer et al. (2022)

2007: 2007-2017

▶ go back